

地方独立行政法人岐阜県立多治見病院

# 平成27年度 業務の実績に関する評価結果

【参考資料】

平成28年 9月

岐阜県地方独立行政法人評価委員会

# I 法人の概要

## 1 法人の現況

- (1) 法人名称 地方独立行政法人岐阜県立多治見病院
- (2) 所在地 岐阜県多治見市前畑町5丁目16番地
- (3) 設立年月日 平成22年4月1日
- (4) 役員の状況 平成27年4月1日現在

	氏名	役職
理事長	原田 明生	院長
副理事長	松葉 英之	副院長兼事務局長
理事	上田 幸夫	副院長兼医療安全部長
理事	竹田 明宏	副院長兼産婦人科部長
理事	近藤 泰三	副院長兼内科部長
理事	柘植 容子	副院長兼看護部長
理事	鈴木 藏	陶芸家、重要無形文化財保持者
理事	加藤 智子	ヤマカ(株)代表取締役
監事	小島 浩一	弁護士
監事	木村 太哉	公認会計士

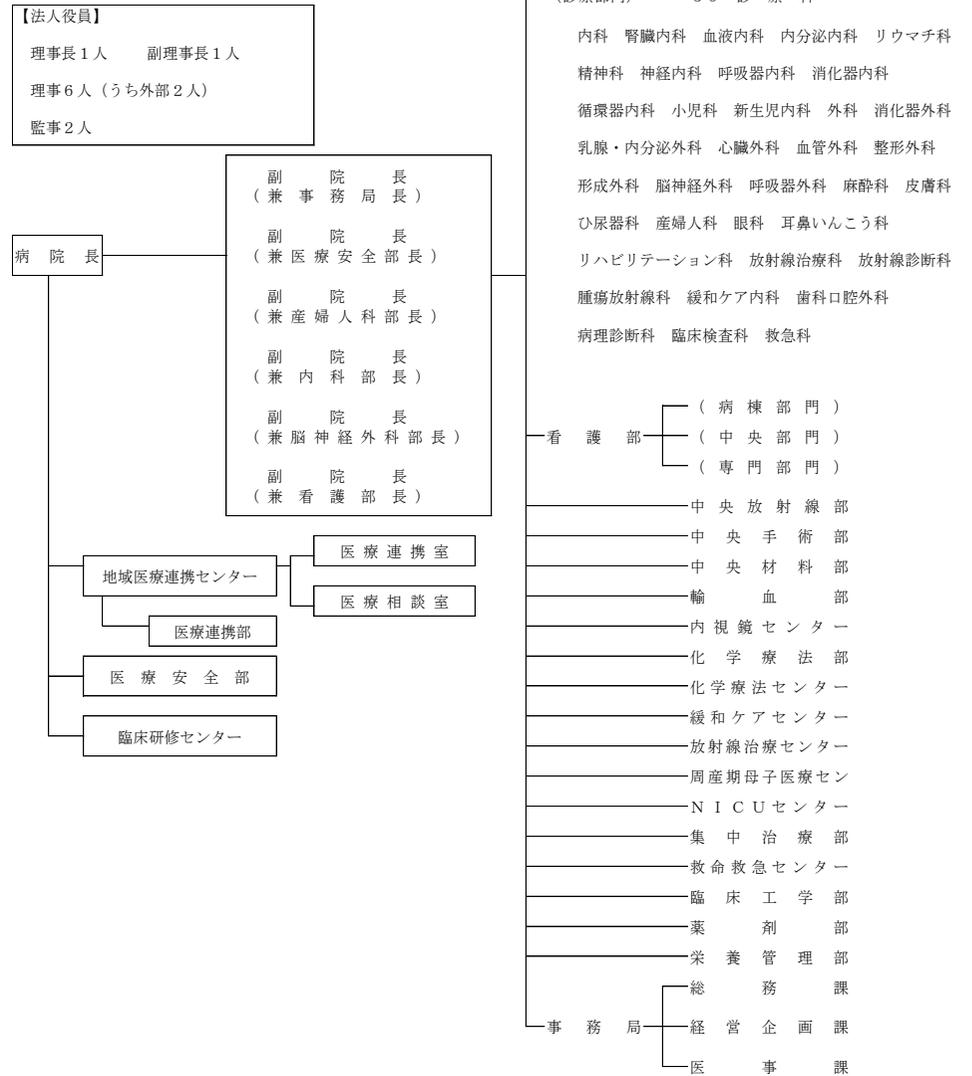
## (5) 職員数(平成27年4月1日現在)

単位：人

職種	常勤	非常勤	合計
医師	124	22	146
看護師	475	106	581
コメディカル	150	14	164
事務等	56	103	159
合計	805	245	1,050

## (6) 組織図

平成27年9月1日現在



2 法人の基本的な目標

(1) 中期目標の前文

地方独立行政法人岐阜県立多治見病院（以下「法人」という。）は、平成22年度の設立以降、県民が身近な地域でいつでも安心して良質な医療を享受できるように、地域の基幹病院として地域の医療水準の向上及び住民の健康増進に取り組んできた。

設立から平成26年度までの第1期中期目標期間中においては、理事長の強いリーダーシップの下、職員一丸となって診療機能の充実・強化及び経営改善を図り、目標としてきた質の高い医療サービスの効果的な提供に努め、高精度放射線治療システムの導入、経常収支比率100%の初年度からの達成など着実な成果をあげた。

一方、医療を取り巻く環境は、社会保障・税一体改革大綱（平成24年2月17日閣議決定）において、急性期をはじめとする医療機能の強化、病院・病床機能の役割分担・連携の推進、在宅医療の充実などに取り組み、団塊世代が75歳以上となる平成37年に向けて医療提供体制の再構築や地域包括ケアシステムの構築を図ることとされている。

このため、第2期中期目標期間においては、これらの医療制度や社会経済情勢の変化に迅速に対応するとともに、第1期中期目標期間の経営面・運営面における実績等を踏まえ、さらなる自律性・機動性・透明性の高い病院運営に努め、東濃地域の中核的な病院として地域全体の医療水準の向上を図り、もって県民の健康の確保及び増進に寄与していくことを強く求めるものである。

(2) その他法人の特徴として記載すべき事項

◆中央診療棟の建替えの推進

昭和56年及び59年に建てられた中央診療棟は30年以上を経過し、外来患者の増加による外来部門の狭隘化や手術室・カテーテル治療室の不足、設備（水道など）老朽化などが深刻となってきており、また災害時の診療機能にも不安が大きいため、早急な対応が求められる。

地域の基幹病院として県民・地域住民に引き続き適切な医療環境を提供するため、中央診療棟の再整備を図る必要があり、平成27年度の基本構想策定、平成28年度基本計画策定をし、今後本体建設へと進めていく。

◆病床機能報告

県では、2次医療圏ごとの各医療機能の将来の必要量を含め、その地域にふさわしいバランスのとれた医療機能（高度急性期、急性期、回復期、慢性期）の分化と連携を適切に推進するための地域医療構想の策定を進めている。

当院においても、当院の医療機能（高度急性期、急性期、慢性期）について病棟単位で現状と今後のあり方を検討し、東濃圏域における地域医療構想構築に参画する。

3 設置する病院の概要

(1) 病院名称 岐阜県立多治見病院

(2) 所在地 岐阜県多治見市前畑町5丁目161番地

(3) 沿革

年	月	概要
昭和14年	5月	県立多治見病院開設→診療開始 昭和14年9月8日
昭和33年	10月	医療法による「総合病院」の指定
昭和43年	2月	岐阜県知事から「救急病院」の指定
昭和59年	2月	診療本館（現 中央診療棟）完成
昭和63年	12月	MR I 棟完成
平成2年	10月	新東病棟（現 東病棟）完成
平成14年	3月	（財）日本医療機能評価機構による病院機能評価（Ver. 5.0）の認定取得
平成18年	1月	電子カルテシステム導入
平成22年	3月	中・西病棟完成
〃	4月	地方独立行政法人に移行
〃	6月	緩和ケア病棟20床開設
平成24年	1月	（財）日本医療機能評価機構による病院機能評価（Ver. 6.0）の認定取得
〃	5月	精神科病棟46床開設（再開）
平成25年	4月	高精度放射線治療センター稼働

(4) その他

理念	安全で、やさしく、あたたかい医療に努めます。
主な役割及び機能	東濃医療圏における基幹病院として、高度先進医療、急性期医療及び政策医療等の県民が必要とする医療の提供
重点医療	救命救急医療 / 周産期医療 / がん医療 / 精神科医療・感染症医療 / 緩和ケア
診療科目	36科目
病床数	627床（一般562床：結核13床：精神46床：感染症6床）
年間延べ患者数 （平成27年度）	入院 : 171,656人 外来 : 289,353人

## II 全体的な状況

### 1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

#### 1-1 診療事業

東濃地域の基幹病院として、近隣の医療機関等との役割分担・連携のもと、地域の限られた医療資源を有効活用し、良質かつ高度な医療を提供できるよう病床機能や規模、将来予測等をふまえた新中央診療棟整備の基本構想案を策定、高度医療機器の計画的な整備、必要な職員の確保、職員のスキルアップ支援、院内研修の実施、チーム医療の推進、診療効率アップ及び患者目線に立ったサービス向上のための施設整備等の取り組みを行った。

今年度、平均在院日数の短縮、医療連携の強化や7対1看護体制の維持などにより、より質の高い医療の提供が可能となった。

患者・住民サービスの向上については、よろず相談・かかりつけ医紹介センターや、かかりつけ医へ患者の診療予定日をお知らせする仕組み（多治見シャトル）の推進、及びセカンドオピニオン希望の患者に対し医療連携室のスタッフが最初から対応した迅速な予約体制の構築などをして、医療に関する相談体制の充実を図った。

患者や周辺住民からの病院運営に関する意見の反映する場として、東濃県事務所の振興防災課も出席していただき、地域住民等と病院とで構成する「多治見病院運営協議会」を開催して、防災についての意見交換をした。

患者サービスに努めた結果、日本病院会「Q Iプロジェクト」での患者満足度調査では、全国Q Iプロジェクト参加病院の中で高い満足度を得ることができた。

診療体制では、連携予約が取りにくい整形外科・神経内科・消化器内科の予約枠の拡大や、ニーズの多い血管外科の常勤医を確保するなどの充実を図った。地域がん診療連携拠点病院としての責任を果たし、地域から期待されるがん治療の推進にこたえることを目的として、高精度放射線治療システム、CTやMRIなどの利用を促進した。

地域医療支援病院として、近隣病院との役割分担の明確化と連携強化による患者紹介率、逆紹介率ともに高い水準を維持することができた。（紹介率65.7%、逆紹介率77.3%）

周産期医療や精神科医療・感染症医療などの施策医療、地域に不足している医療や県民が必要とする医療を提供するための取組みを積極的に推進した。

#### 1-2 調査研究事業

臨床研究及び治験の推進を図っていくため、治験施設支援機関からの支援を得て、治験参加の有益性の啓発・啓蒙に努め、受託件数の増加を目指した。

また、提供する医療の質及び地域の医療水準の向上等を図るため、日本病院会「Q Iプロジェクト」に加え、全国自治体病院協議会「医療の質の評価・公表等推進事業」にも参加して、CI、QIデータについて分析をするとともに、年報やホームページ上での公表を継続して行った。

10月から利用開始した岐阜県地域医療情報連携ネットワークシステム「ぎふ清流ネット」において、東濃地域の医療機関間相互で診療データの共有が行えるようにした。

#### 1-3 教育研修事業

質の高い医療従事者を養成するため最新の医療技術や知識を習得できるよう国内外の学会や講習会への参加に必要な費用を負担し支援した。

最新の医療技術や知識習得のため、コメディカル研修委員会を設置して合同研修会を実施した。

臨床研修病院の質の改善・向上を図り、良い医師を育てる研修プログラムとするため、卒後臨床研修評価機構による施設調査を受審し、その認定を受けた。

新専門医制度について、外科領域と内科領域でプログラム申請をし、後期研修医の基幹施設として体制整備を図った。

上矢作病院勤務の医師の後期研修医としての受け入れや、医学部生、看護学生等の実習を積極的に受け入れるなど、医療従事者の育成に努めた。また、救急救命士に対する病院実習も積極的に実施し、医療技術の向上を支援した。

#### 1-4 地域支援事業

中津川市民病院の精神科に医師を派遣するなど、医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援を継続した。

地域全体の医療水準の向上を目的に、近隣の病院や施設へ医師、認定看護師や専門看護師、コメディカルを講師として派遣し、精神医学の講義など専門分野への講演・技術指導の要請に応じた。

地域医療機関や地域住民に対して、病院が保有する保健医療情報を提供するため、市民公開講座・緩和ケア市民公開講座や、医師、看護師等が公民館に出向く健康づくり講座などを行った。

#### 1-5 災害等発生時における医療救護

災害拠点病院（平成23年10月に指定）として、大規模災害発生時等に病院機能が発揮できるよう、岐阜県DMAT指定病院間で連絡を行うための防災相互通信無線の整備や、大規模災害を想定した災害実働訓練の実施、DMATの質の向上・維持のための訓練参加を行った。

また、DMAT2チームの他に、精神科医療や一般住民の「こころのケア」に対する支援も担う災害派遣精神医療チーム（DPAT: Disaster Psychiatric Assistance Team）の体制を構築し、派遣に向けた準備をした。

機能強化として、災害時に院内のガス供給確保のため、経済産業省による補助金（平成27年度石油製品利用促進対策事業補助金）を活用し、「石油ガス災害バレルク」を設置した。

## 2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

効率的かつ効果的な組織体制の充実を図るため、管理課の設置など組織・業務体制の見直しをするとともに、IT化の推進、医療コンサルタントの活用を進めた。委託業務に関する評価システムを導入し契約業務評価するとともに、病院経営の向上に関する改善提案や省エネ・省資源アイデア（効果・実現可能性・動入コスト・利便性の視点から評価）を職員から募集し、今後の業務に活用した。

今年度から事務部門の専門・階層別研修に関する方針・計画を作成し、外部講師等を活用した研修を実施するとともに、研修成果の院内報告会を開催するなどして研修効果の向上を図った。併せて、「医師クランクキャリア形成支援制度」を導入し、配置体制の拡充、研修の実施と能力評定による資質向上を図った。

全職員に、就業規則や医療法などのコンプライアンスの確認と徹底を図った。

収入の確保として、退院調整を促進し適切な在院日数を維持しつつ、新規入院患者の確保、入院単価の向上を図るとともに、診療報酬に直接関係のあるDPC機能評価係数を上げるため、DPCデータを基にした分析システムを活用し、病院の現状を明確化することにより経営の向上を図った。

未収金管理システムの活用を図るとともに、弁護士事務所への未収金回収委託を継続し、債権の徴収状況を定期的に把握しながら効果的な回収を進めた。また、平成28年度診療報酬改定に向けた早期取組みを行った。

材料費では、医療コンサルタントを活用し、医薬品、診療材料契約単価の価格交渉、品目切り替えや、院内在庫の定数の見直しやSPD委託業者による点検評価を実施した。また、後発医薬品の採用を各診療科へ働きかけ、数量ベースで後発採用率80%以上の目標が達成できた。

## 3 予算、収支計画及び資金計画

[収益] 平均在院日数の短縮、医療連携の強化や7対1看護体制の維持などによる診療単価増により、昨年度と比べ医療収益において2.6%、収益全体でも3.0%（5.0億円）の増となった。計画に比べ医療収益において0.7%の減収益全体では0.1%（5百万円）の増となった。

[費用] 材料費における価格交渉や品目切り替え、後発医薬品の採用、光熱水費・燃料費の単価下落などにより、昨年度と比べ医療費用で3.9%、全体で3.8%の増にとどまった。計画に比べ医療費用において0.8%の減となり、費用全体では0.7%（1.2億円）の増となった。

こうした業務運営の改善及び効率化により、単年度収支は1億3千5百万円の黒字となり、経常収支比率も100.5%となり、目標である100%以上を平成22年度の独立行政法人化から6年連続で達成した。職員給与と費対医療収益比率は、目標の50%以下を少し上まわる51.5%となり、業務の効率化や医療収益の更なる増収を目指していくことが必要となった。

経常収支比率 = (営業収益+営業外収益) ÷ (営業費用+営業外費用) × 100

営業収益	16,956,383千円
営業外収益	99,543千円
営業費用	16,298,975千円
営業外費用	680,798千円

## 4 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

職員の就労環境の向上については、医療従事者の勤務環境改善に向けた県指定モデル病院となり、有給休暇取得向上などに取り組んだ。

職員の健康管理については、法定検診（定期健康診断、人間ドック）、任意検診（各種抗体検査、予防接種等）などの確実な受診と、要精密検査等の未実施職員への受診指導を徹底した。平成28年度実施に向けたストレスチェックの準備も行き、健康管理対策の充実に努めた。

院内保育では、引き続き民間会社に保育業務を委託し、夜間保育、休日保育、及び病児保育の利便性向上に努めた。

医療機器整備については、県民の医療需要、費用対効果などを総合的に判断した年度整備計画を策定し、超音波診断装置や上部消化管ビデオスコープ、分娩監視装置などの購入や、放射線治療装置（ライナック）の更新に向けた計画推進を行った。

また、質の高い医療をするため、老朽化した中央診療棟の整備に向けた新中央診療棟整備の基本構想（財源、建替え手法等）を策定し、県、市との協議を進めた。

法人が負担する債務の償還については、岐阜県に対する債務の償還を確実に実施した。

Ⅲ 自己評価・検証結果一覧表

項目	項目番号	自己評価	検証結果
1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組			
1-1 診療事業			
1-1-1 より質の高い医療の提供	01	Ⅳ	Ⅳ
1-1-2 患者・住民サービスの向上	02	Ⅲ	Ⅲ
1-1-3 診療体制の充実	03	Ⅳ	Ⅳ
1-1-4 近隣の医療機関等との役割分担及び連携	04	Ⅳ	Ⅳ
1-1-5 重点的に取り組む医療	05	Ⅳ	Ⅳ
1-2 調査研究事業			
1-2-1 調査及び臨床研究等の推進	06	Ⅱ	Ⅱ
1-2-2 診療情報等の活用	07	Ⅲ	Ⅲ
1-3 教育研修事業			
1-3-1 医師の卒後臨床研修等の充実	08	Ⅳ	Ⅳ
1-3-2 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施	09	Ⅲ	Ⅲ
1-4 地域支援事業			
1-4-1 地域医療への支援	10	Ⅳ	Ⅳ
1-4-2 社会的な要請への協力	11	Ⅲ	Ⅲ
1-4-3 保健医療情報の提供・発信	12	Ⅲ	Ⅲ
1-5 災害等発生時における医療救護			
1-5-1 医療救護活動の拠点機能の充実	13	Ⅲ	Ⅲ
1-5-2 他県等の医療救護への協力	14	Ⅳ	Ⅳ
1-5-3 被災時における病院機能維持のための準備体制の確立	15	Ⅲ	Ⅲ
1-5-4 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮	16	Ⅲ	Ⅲ

項目	項目番号	自己評価	検証結果
2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組			
2-1 効率的な業務運営体制の確立			
2-1-1 効果的な組織体制の確立	17	Ⅲ	Ⅲ
2-1-2 診療体制及び人員配置の弾力的運用	18	Ⅲ	Ⅲ
2-1-3 人事評価システムの構築	19	Ⅲ	Ⅲ
2-1-4 事務部門の専門性の向上	20	Ⅳ	Ⅳ
2-1-5 コンプライアンスの徹底	21	Ⅲ	Ⅲ
2-1-6 適切な情報管理	22	Ⅲ	Ⅲ
2-2 業務運営の見直しや効率化による収支改善			
2-2-1 多様な契約手法の導入	23	Ⅲ	Ⅲ
2-2-2 収入の確保	24	Ⅲ	Ⅲ
2-2-3 費用の削減	25	Ⅲ	Ⅲ
3 予算(人件費の見積含む。)、収支計画及び資金計画	26	Ⅲ	Ⅲ
4 短期借入金の限度額			
5 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画			
6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画			
7 剰余金の使途			
8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項			
8-1 職員の就労環境の向上	27	Ⅳ	Ⅳ
8-2 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項	28	Ⅲ	Ⅲ
8-3 施設・医療機器の整備に関する事項	29	Ⅳ	Ⅳ
8-4 法人が負担する債務の償還に関する事項	30	Ⅲ	Ⅲ

## IV 項目別の状況

### 1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

中期目標	<p>1-1 診療事業 東濃地域の基幹病院として、近隣の医療機関との役割分担・連携の下、高度・先進医療、急性期医療、政策医療等の県民が必要とする医療を提供する。</p> <p>※ より質の高い医療の提供 法人が有する医師、看護師、コメディカル等や、先進かつ高度な医療機器といった人的・物的資源を有効に活用し、高度で専門的な医療に取り組むことで、県内医療水準の向上に努めること。 特に、医師、看護師、コメディカル等の優秀な医療スタッフの確保や各職種の専門性の向上を図るための教育研修の充実に努め、提供する医療水準の維持・向上を図ること。 また、個々の患者に最適な医療を選択し、より質の高い医療を提供するため、科学的な根拠に基づく医療の推進、クリニカルパスの推進、チーム医療体制の充実、メディカカードの導入などITの活用にも努めること。 さらに、医療事故を未然に防ぎ、患者が安心して治療に専念できる安全・安心な医療と治療環境を提供できるよう、院内感染対策など医療安全対策を徹底すること。</p> <p>※ 患者・住民サービスの向上 来院から診察、検査、会計等に至る全てのサービスの待ち時間の改善、快適性及びプライバシー確保に配慮した院内環境の充実、インフォームドコンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進、医療に関する相談体制の充実など、病院が提供する全てのサービスについて患者の利便性の向上に努めること。 また、病院運営に関し、患者のみならず地域住民の意見を取り入れ、患者・住民サービスの向上を図ること。</p> <p>※ 診療体制の充実 医療需要の質的・量的な変化や新たな医療課題に適切に対応するため、患者動向や医療需要の変化に即して診療部門の充実若しくは見直し又は専門外来の設置若しくは充実など診療体制の整備・充実を図ること。</p> <p>※ 近隣の医療機関等との役割分担及び連携 近隣の医療機関等との役割分担を明確にし、病院・病床機能の分化・強化を図るとともに、地域連携クリティカルパスの活用など地域の医療機関との連携を充実・強化し、地域の実情に応じて東濃地域の基幹病院としての機能を引き続き発揮し、県民が求める医療を提供すること。 また、救急医療コミュニティシステムを利用した医療画像等の患者情報の共有など他の医療機関との連携による医療提供の促進を図ること。 さらに、円滑に在宅医療・療養へ移行するため、他の機関との連携を充実・強化し、医療から介護・福祉へと切れ目のないサービス提供の促進を図ること。</p> <p>※ 重点的に取り組む医療 高度・先進医療、急性期医療及び政策医療といった他の医療機関においては実施が困難ではあるものの県民が必要とする医療を重点的に実施すること。 特に、「救命救急医療」、「周産期医療」、「がん医療」などの高度で先進的な医療及び「精神科医療」、「感染症医療」などの政策医療を重点医療として位置付け、提供すること。 なお、がん医療については、地域がん診療連携拠点病院として、新たに整備した高精度放射線治療装置などによる先進治療に加え、地域の医療機関等との連携の推進により、緩和ケア病棟と在宅での一貫した緩和ケアが受けられる体制の充実を図ること。</p>
------	---

項目No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己評価	評価委員会の検証	
					検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項
01	<p>※ より質の高い医療の提供</p> <p>1 高度医療機器の計画的な更新・整備</p> <p>2 医師、看護師、コメディカ</p>	<p>1 高度医療機器の計画的な更新・整備</p> <p>・ 高度・先進医療、急性期医療、政策医療等が提供できるよう病床機能や規模、将来予測等をふまえた新中央診療棟整備の基本構想の策定を図った。また、主要医療機器の更新・整備計画に基づき、「血管撮影装置」など高度先進医療機器を整備した。</p>	<p>4 認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進</p> <p>・ より水準の高い看護を提供するため、認定看護師等長期研修3カ年計画に基づき、感染管理認定看護師、がん専門看護師の資格取得に支援を行った。</p> <p>【認定看護師・専門看護師数】 単位：人（各年度末時点）</p>	IV	IV	医療従事者を確保し、診療体制の充実につなげていること、また、医療安全面上の努力がみら



項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己評価	評価委員会の検証																																																															
					検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																																																														
		<p>同研修計画を作成し、教育や研修会を実施し、最新の医療技術や知識習得を図った。</p> <p>※ 階層別合同研修会・研修講演会の実施：年8回</p> <p>【コメディカル専門研修の参加人数】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師</td> <td>28</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>39</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>放射線技師</td> <td>51</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>13</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>リハビリ技師</td> <td>19</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>41</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>191</td> <td>200</td> </tr> </tbody> </table> <p>9 医療安全対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医療の質及び安全の確保への意識向上を目的に、職員対象に医療安全推進週間での「医療安全川柳コンテスト」の実施をした。</li> <li>高齢者の割合が増え、転倒・転落による骨折などのアクシデントが多くなったため、患者や家族を交えた環境対策などを図った。</li> </ul> <p>【インシデント・アクシデント件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント</td> <td>3,661</td> <td>3,765</td> </tr> <tr> <td>アクシデント</td> <td>20</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,681</td> <td>3,795</td> </tr> </tbody> </table> <p>【医療安全講演会開催実績】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>テーマ（開催日）</th> <th>参加数</th> <th>DVD 視聴</th> <th>DVD 研修会</th> <th>参加率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新しい医療事故調査制度について(9/15)</td> <td>531</td> <td>405</td> <td>—</td> <td>91.0</td> </tr> <tr> <td>救命・救急最前線でインシデントを防ぐ(2/25)</td> <td>469</td> <td>—</td> <td>332</td> <td>80.8</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H26	H27	薬剤師	28	30	臨床検査技師	39	41	放射線技師	51	76	臨床工学技士	13	19	リハビリ技師	19	18	管理栄養士	41	16	合計	191	200	区分\年度	H26	H27	インシデント	3,661	3,765	アクシデント	20	30	合計	3,681	3,795	テーマ（開催日）	参加数	DVD 視聴	DVD 研修会	参加率 (%)	新しい医療事故調査制度について(9/15)	531	405	—	91.0	救命・救急最前線でインシデントを防ぐ(2/25)	469	—	332	80.8	<table border="1"> <tr> <td>合計</td> <td>198</td> <td>208</td> </tr> </table> <p>【クリニカルパス種類数・使用数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類数（単位：種）</td> <td>141</td> <td>124</td> </tr> <tr> <td>使用数（単位：件）</td> <td>6,522</td> <td>6,344</td> </tr> </tbody> </table> <p>7 専門性を発揮したチーム医療の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまで活動を継続してきたICT(感染防止対策チーム)、NST(栄養サポートチーム)、RST(呼吸サポートチーム)及びPCT(緩和ケアチーム)に加え、精神リエゾンチームによる活動を開始した。</li> </ul> <p>8 メディカカードの導入などのITの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>メディカカードの導入に必要な環境整備(カード発行端末及び読み取り端末の設置)をし、20人の発行を行った。</li> </ul>	合計	198	208	区分\年度	H26	H27	種類数（単位：種）	141	124	使用数（単位：件）	6,522	6,344		
区分\年度	H26	H27																																																																		
薬剤師	28	30																																																																		
臨床検査技師	39	41																																																																		
放射線技師	51	76																																																																		
臨床工学技士	13	19																																																																		
リハビリ技師	19	18																																																																		
管理栄養士	41	16																																																																		
合計	191	200																																																																		
区分\年度	H26	H27																																																																		
インシデント	3,661	3,765																																																																		
アクシデント	20	30																																																																		
合計	3,681	3,795																																																																		
テーマ（開催日）	参加数	DVD 視聴	DVD 研修会	参加率 (%)																																																																
新しい医療事故調査制度について(9/15)	531	405	—	91.0																																																																
救命・救急最前線でインシデントを防ぐ(2/25)	469	—	332	80.8																																																																
合計	198	208																																																																		
区分\年度	H26	H27																																																																		
種類数（単位：種）	141	124																																																																		
使用数（単位：件）	6,522	6,344																																																																		

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己評価	評価委員会の検証																																
					検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																															
		※DVD視聴・研修会：参加率 100%を目指すため実施  10 院内感染防止対策の確立 ・ 感染体制の充実を図るため感染管理認定看護師教育課程の受講支援をした。また、感染対策委員会活動を中心に、院内感染の発生原因の究明及び防止対策の確立に努め、院内ラウンドや情報提供を行った。  <b>【感染対策教育講演会開催実績】</b> 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>テーマ（開催日）</th> <th>参加数</th> <th>DVD 視聴</th> <th>DVD 研修会</th> <th>参加率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カルバペネム耐性腸内細菌科細菌（CRE）感染症と院内感染対策（8/6）</td> <td>514</td> <td>267</td> <td>—</td> <td>75.0</td> </tr> <tr> <td>廃棄物の分別について（3/3）</td> <td>468</td> <td>—</td> <td>428</td> <td>85.0</td> </tr> </tbody> </table> ※DVD視聴・研修会：参加率 100%を目指すため実施	テーマ（開催日）	参加数	DVD 視聴	DVD 研修会	参加率 (%)	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌（CRE）感染症と院内感染対策（8/6）	514	267	—	75.0	廃棄物の分別について（3/3）	468	—	428	85.0																				
テーマ（開催日）	参加数	DVD 視聴	DVD 研修会	参加率 (%)																																	
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌（CRE）感染症と院内感染対策（8/6）	514	267	—	75.0																																	
廃棄物の分別について（3/3）	468	—	428	85.0																																	
02	※ 患者・住民サービスの向上  1 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等  2 院内環境の快適性の向上  3 医療に関する相談体制の充実  4 患者中心の医療の提供  5 インフォームドコンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進	3 医療に関する相談体制の充実 ・ 患者やその家族からの医療費支払いに関する各種福祉制度の活用や転院相談等の医療情報に関する医療相談の他に、受診診療科や病気などの様々な相談に対し、よろず相談・かかりつけ医紹介センターなどを活用した丁寧な相談体制で対応ができた。  <b>【よろず相談・かかりつけ医紹介件数】</b> 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>かかりつけ医への紹介</td> <td>256</td> <td>251</td> </tr> <tr> <td>よろず相談（※）</td> <td>327</td> <td>1,480</td> </tr> </tbody> </table> ※H26:平成27年1月から3月まで  <b>【医療相談件数】</b> 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療相談件数</td> <td>10,648</td> <td>12,303</td> </tr> <tr> <td>がん患者サロン（ほっとサロン）相談件数</td> <td>127</td> <td>99</td> </tr> </tbody> </table>	項目\年度	H26	H27	かかりつけ医への紹介	256	251	よろず相談（※）	327	1,480	項目\年度	H26	H27	医療相談件数	10,648	12,303	がん患者サロン（ほっとサロン）相談件数	127	99	1 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等 ・ 昨年度から早めた中央採血室の運用開始時間について、待ち時間調査などで検証したところ、待ち時間の短縮が図れていた。 ・ 開業医との連携検査予約の予約枠を拡大したことで高度医療機器利用件数が増加し、住民サービス向上となった。  <b>【平均待ち時間】</b> 単位：分 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table> ※待ち時間は病院全体の時間  <b>【CT、MRI 検査件数】</b> 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT件数</td> <td>28,159</td> <td>29,355</td> </tr> <tr> <td>MRI 件数</td> <td>9,392</td> <td>9,862</td> </tr> </tbody> </table>	H26	H27	23	22	区分\年度	H26	H27	CT件数	28,159	29,355	MRI 件数	9,392	9,862	Ⅲ	Ⅲ	セカンドオピニオンの件数の増加は、良い傾向である。
項目\年度	H26	H27																																			
かかりつけ医への紹介	256	251																																			
よろず相談（※）	327	1,480																																			
項目\年度	H26	H27																																			
医療相談件数	10,648	12,303																																			
がん患者サロン（ほっとサロン）相談件数	127	99																																			
H26	H27																																				
23	22																																				
区分\年度	H26	H27																																			
CT件数	28,159	29,355																																			
MRI 件数	9,392	9,862																																			

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己評価	評価委員会の検証																																																												
					検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																																																											
6	患者や周辺住民からの病院運営に関する意見の反映	<p>【カルテ開示請求件数・開示件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>請求件数</td> <td>63</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>開示件数</td> <td>63</td> <td>62</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電子カルテ内のIC（インフォームドコンセント）シートの活用徹底と、ICにおける同意書の内容の検討・見直しを行った。また、セカンドオピニオン希望の患者に対し、医療連携室のスタッフが最初から対応し、より迅速な予約体制を構築した。</li> </ul> <p>【セカンドオピニオン実施件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来受入</td> <td>8</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>他院紹介</td> <td>55</td> <td>70</td> </tr> </tbody> </table> <p>6 患者や周辺住民からの病院運営に関する意見の反映</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東濃県事務所の振興防災課も出席していただき、地域住民等と病院とで構成する「多治見病院運営協議会」を開催して、防災についての意見交換をした。</li> <li>患者サービスに努めた結果、日本病院会「QIプロジェクト」での患者満足度調査では、全国QIプロジェクト参加病院の中では高い満足度を得ることができた。</li> </ul> <p>【満足度調査の比較】 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">満足度</th> </tr> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">入院</td> <td>当院</td> <td>99.6</td> <td>95.6</td> </tr> <tr> <td>QIプロジェクト参加病院（平均値）</td> <td>87.7</td> <td>89.3</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>当院</td> <td>95.8</td> <td>87.2</td> </tr> </tbody> </table>	項目\年度	H26	H27	請求件数	63	64	開示件数	63	62	区分\年度	H26	H27	外来受入	8	20	他院紹介	55	70			満足度		H26	H27	入院	当院	99.6	95.6	QIプロジェクト参加病院（平均値）	87.7	89.3	外来	当院	95.8	87.2	<p>2 院内環境の快適性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>治療効果を高めるため、食事制限などのある患者の食事相談や指導をした。また、喫食量の低下した患者へ、NSTの早期介入、栄養に対する知識を高める教育、献立や分量見直しを行った。</li> </ul> <p>【喫食量の低下・低栄養患者への取り組み】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>栄養指導</td> <td>3,938</td> <td>4,552</td> </tr> <tr> <td>栄養管理</td> <td>1,636</td> <td>2,017</td> </tr> <tr> <td>NST介入</td> <td>396</td> <td>433</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 患者中心の医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>患者サポート体制カンファレンスを毎週1回開催し、医療相談、クレーム事例などから患者の意見・要望を把握し、医療安全活動と合わせ、患者の権利の保障について検討した。また、インシデント事例から、今後フォローが必要になりそうな患者について情報共有を行った。</li> </ul> <p>【患者図書室利用実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数（単位：人）</td> <td>10,736</td> <td>10,552</td> </tr> <tr> <td>稼働日数（単位：日）</td> <td>244</td> <td>242</td> </tr> <tr> <td>1日平均（単位：日）</td> <td>44.0</td> <td>43.6</td> </tr> </tbody> </table>	項目\年度	H26	H27	栄養指導	3,938	4,552	栄養管理	1,636	2,017	NST介入	396	433	区分\年度	H26	H27	利用者数（単位：人）	10,736	10,552	稼働日数（単位：日）	244	242	1日平均（単位：日）	44.0	43.6			
項目\年度	H26	H27																																																															
請求件数	63	64																																																															
開示件数	63	62																																																															
区分\年度	H26	H27																																																															
外来受入	8	20																																																															
他院紹介	55	70																																																															
		満足度																																																															
		H26	H27																																																														
入院	当院	99.6	95.6																																																														
	QIプロジェクト参加病院（平均値）	87.7	89.3																																																														
外来	当院	95.8	87.2																																																														
項目\年度	H26	H27																																																															
栄養指導	3,938	4,552																																																															
栄養管理	1,636	2,017																																																															
NST介入	396	433																																																															
区分\年度	H26	H27																																																															
利用者数（単位：人）	10,736	10,552																																																															
稼働日数（単位：日）	244	242																																																															
1日平均（単位：日）	44.0	43.6																																																															

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																											
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																										
		<table border="1"> <tr> <td>QI プロジェクト参加病院 (平均値)</td> <td>80.9</td> <td>81.7</td> </tr> </table> <p>※ QI プロジェクトデータを全て引用 H27 から集計方法の変更</p>	QI プロジェクト参加病院 (平均値)	80.9	81.7																											
QI プロジェクト参加病院 (平均値)	80.9	81.7																														
03	<p>※ 診療体制の充実</p> <p>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p> <p>2 多様な専門職の積極的な活用</p>	<p>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>連携予約が取りにくい整形外科・神経内科・消化器内科の予約枠の拡大や、ニーズの多い血管外科の常勤医の確保など、診療体制の充実を図った。</li> <li>がん治療として地域から期待される高精度放射線治療システム（ノバリスTx）を利用した診療体制の充実を図った結果、強度変調放射線治療（IMRT）などの患者数が増えた。</li> </ul> <p>【連携予約状況】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>整形外科</td> <td>906</td> <td>1,019</td> </tr> <tr> <td>神経内科</td> <td>713</td> <td>871</td> </tr> <tr> <td>消化器内科</td> <td>1,413</td> <td>1,738</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>8,798</td> <td>9,604</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>11,830</td> <td>13,232</td> </tr> </tbody> </table> <p>【血管外科手術件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>161</td> </tr> </tbody> </table> <p>【強度変調放射線治療（IMRT）患者数】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>197</td> <td>239</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 多様な専門職の積極的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>非常勤職員就業規則を改正し、非常勤職員にかかる定年制度を整備するとともに、今後、定年退職者が多数想定される中で、管理職以外の退職者の再雇用制度を整備し、安定的な診療体制の充実を図った。</li> </ul>	区分\年度	H26	H27	整形外科	906	1,019	神経内科	713	871	消化器内科	1,413	1,738	その他	8,798	9,604	合計	11,830	13,232	H26	H27	0	161	H26	H27	197	239		IV	IV	連携システムの配備、血管外科医の確保などは評価できる。
区分\年度	H26	H27																														
整形外科	906	1,019																														
神経内科	713	871																														
消化器内科	1,413	1,738																														
その他	8,798	9,604																														
合計	11,830	13,232																														
H26	H27																															
0	161																															
H26	H27																															
197	239																															

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己評価	評価委員会の検証																																																																																				
					検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																																																																																			
04	※ 近隣の医療機関等との役割分担及び連携  1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化  2 地域連携クリティカルパスの整備普及  3 救急医療コミュニケーションシステム等の活用  4 地域の介護・福祉機関など退院後の療養に関する連携強化	1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化 ・ 多治見シャトル（かかりつけ医へ患者の診療予定日をお知らせする仕組み）を活用し、開業医との連携強化を進めることができた。また、近隣病院との役割分担の明確化と連携強化により患者紹介率、逆紹介率ともに高い水準を維持することができ、地域医療支援病院としての要件を満たした。  <b>【多治見シャトル利用】</b> 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>526</td> <td>702</td> </tr> </tbody> </table> <b>【紹介患者のうち医療連携予約の割合】</b> 単位：％ <table border="1"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>56.8</td> <td>58.8</td> </tr> </tbody> </table> <b>【紹介率・逆紹介率】</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率 (単位：％)</td> <td>69.3</td> <td>65.7</td> </tr> <tr> <td>紹介実件数 (単位：件)</td> <td>20,836</td> <td>22,506</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率 (単位：％)</td> <td>86.0</td> <td>77.3</td> </tr> <tr> <td>逆紹介実件数 (単位：件)</td> <td>19,472</td> <td>17,796</td> </tr> </tbody> </table> <b>【高度医療機器利用状況】</b> 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>C T</td> <td>727</td> <td>762</td> </tr> <tr> <td>M R I</td> <td>560</td> <td>628</td> </tr> <tr> <td>R I</td> <td>113</td> <td>137</td> </tr> <tr> <td>P E T</td> <td>54</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>骨密度</td> <td>14</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1,468</td> <td>1,633</td> </tr> </tbody> </table> <b>【開放型病床利用】</b> 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	H26	H27	526	702	H26	H27	56.8	58.8	区分\年度	H26	H27	紹介率 (単位：％)	69.3	65.7	紹介実件数 (単位：件)	20,836	22,506	逆紹介率 (単位：％)	86.0	77.3	逆紹介実件数 (単位：件)	19,472	17,796	機器名\年度	H26	H27	C T	727	762	M R I	560	628	R I	113	137	P E T	54	60	骨密度	14	46	合 計	1,468	1,633	区分\年度	H26	H27				2 地域連携クリティカルパスの整備普及 ・ 地域連携クリティカルパス（大腿骨頸部骨折、脳卒中、5大がん、狭心症・心筋梗塞、糖尿病）の運用促進のため、地域医療連携推進協議会（年4回）や医療連携講演会（年2回）を開催し、医師会、行政機関等との連携を強化した。  <b>【地域連携バス運用実績】</b> 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>バス名\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大腿骨頸部骨折</td> <td>111</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>脳卒中</td> <td>263</td> <td>222</td> </tr> <tr> <td>5大がん</td> <td>9</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>狭心症・心筋梗塞</td> <td>112</td> <td>117</td> </tr> <tr> <td>糖尿病</td> <td>5</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>500</td> <td>461</td> </tr> </tbody> </table> <b>【共同指導・連携指導の実績】</b> 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>退院時共同指導実績</td> <td>99</td> <td>112</td> </tr> <tr> <td>介護支援連携指導</td> <td>247</td> <td>231</td> </tr> </tbody> </table> 4 地域の介護・福祉機関など退院後の療養に関する連携強化 ・ 退院前に医師、看護師、地域のケアマネージャーを交えた合同カンファレンスを開催し、地域との連携を強化するとともに、安全・安楽に在宅療養できるよう支援を行った。 ・ 適切な退院、転院を進めるために、医療機関や介護・福祉機関を積極的に訪問し、在宅復帰率75%以上を達成し在宅復帰率の安定的な維持を図った。  <b>【在宅復帰率】</b> 単位：％ <table border="1"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>89.45</td> <td>87.47</td> </tr> </tbody> </table>	バス名\年度	H26	H27	大腿骨頸部骨折	111	100	脳卒中	263	222	5大がん	9	22	狭心症・心筋梗塞	112	117	糖尿病	5	0	合 計	500	461	項目\年度	H26	H27	退院時共同指導実績	99	112	介護支援連携指導	247	231	H26	H27	89.45	87.47	IV	IV 多治見シャトルの活用件数を伸ばし、開業医との連携強化を進めていることは評価できる。
H26	H27																																																																																								
526	702																																																																																								
H26	H27																																																																																								
56.8	58.8																																																																																								
区分\年度	H26	H27																																																																																							
紹介率 (単位：％)	69.3	65.7																																																																																							
紹介実件数 (単位：件)	20,836	22,506																																																																																							
逆紹介率 (単位：％)	86.0	77.3																																																																																							
逆紹介実件数 (単位：件)	19,472	17,796																																																																																							
機器名\年度	H26	H27																																																																																							
C T	727	762																																																																																							
M R I	560	628																																																																																							
R I	113	137																																																																																							
P E T	54	60																																																																																							
骨密度	14	46																																																																																							
合 計	1,468	1,633																																																																																							
区分\年度	H26	H27																																																																																							
バス名\年度	H26	H27																																																																																							
大腿骨頸部骨折	111	100																																																																																							
脳卒中	263	222																																																																																							
5大がん	9	22																																																																																							
狭心症・心筋梗塞	112	117																																																																																							
糖尿病	5	0																																																																																							
合 計	500	461																																																																																							
項目\年度	H26	H27																																																																																							
退院時共同指導実績	99	112																																																																																							
介護支援連携指導	247	231																																																																																							
H26	H27																																																																																								
89.45	87.47																																																																																								

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己評価	評価委員会の検証																																																																				
					検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																																																																			
		<table border="1"> <tr> <td>医科</td> <td>29</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>歯科</td> <td>12</td> <td>26</td> </tr> </table> <p>3 救急医療コミュニティシステム等の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県下の患者情報を共有できるようにするための岐阜県地域連携ネットワークシステム「ぎふ清流ネット」の利用を10月から開始し、近隣の医療機関との連携強化ができた。(登録医療機関 11 機関)</li> </ul>	医科	29	13	歯科	12	26	<p>【相談対応件数】 単位：件</p> <table border="1"> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> <tr> <td>10,648</td> <td>12,303</td> </tr> </table> <p>【合同カンファレンスの実績】 単位：件</p> <table border="1"> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> <tr> <td>346</td> <td>231</td> </tr> </table>	H26	H27	10,648	12,303	H26	H27	346	231																																																								
医科	29	13																																																																							
歯科	12	26																																																																							
H26	H27																																																																								
10,648	12,303																																																																								
H26	H27																																																																								
346	231																																																																								
05	<p>※ 重点的に取り組む医療</p> <p>1 救命救急医療</p> <p>2 周産期医療</p> <p>3 がん医療</p> <p>4 精神科医療・感染症医療</p> <p>5 緩和ケア</p>	<p>1 救命救急医療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>救急医療の体制維持を図るため、救命救急センター症例検証会の開催やドクターヘリ患者搬送マニュアル改訂などを実施した。また、心臓外科医師を増員（1人）し、急性期心臓血管疾患に対応する体制を充実させた。</li> </ul> <p>【救命救急センター受入実績（延患者数及び病床利用率）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">H26</th> <th colspan="2">H27</th> </tr> <tr> <th>延患者数 (単位：人)</th> <th>病床利用率 (単位：%)</th> <th>延患者数 (単位：人)</th> <th>病床利用率 (単位：%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ICU</td> <td>1,740</td> <td>59.6</td> <td>1,656</td> <td>56.6</td> </tr> <tr> <td>CCU</td> <td>906</td> <td>82.7</td> <td>891</td> <td>81.1</td> </tr> <tr> <td>HCU</td> <td>1,887</td> <td>57.4</td> <td>1,914</td> <td>58.1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4,533</td> <td>62.1</td> <td>4,461</td> <td>60.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>【救急車両受入台数】 単位：台</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受入台数</td> <td>4,524</td> <td>4,933</td> </tr> <tr> <td>一日平均台数</td> <td>12.4</td> <td>13.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>【心臓血管手術症例数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>虚血性心疾患</td> <td>18</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>弁膜症</td> <td>26</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>大動脈</td> <td>16</td> <td>34</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H26		H27		延患者数 (単位：人)	病床利用率 (単位：%)	延患者数 (単位：人)	病床利用率 (単位：%)	ICU	1,740	59.6	1,656	56.6	CCU	906	82.7	891	81.1	HCU	1,887	57.4	1,914	58.1	合計	4,533	62.1	4,461	60.9	区分\年度	H26	H27	受入台数	4,524	4,933	一日平均台数	12.4	13.5	区分\年度	H26	H27	虚血性心疾患	18	28	弁膜症	26	31	大動脈	16	34	<p>5 緩和ケア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>緩和ケアとして取り組む医療を提供するため、緩和ケアセンターの環境体制の整備・緩和ケアマニュアルの見直し、在宅緩和ケアマップの完成や講演会及び勉強会の開催などに努めた。</li> </ul> <p>【緩和ケア勉強会等開催状況】 単位：回</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>開催</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緩和ケア勉強会</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア研修会</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア市民公開講座</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【緩和ケアの患者動向】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数</td> <td>3,806</td> <td>3,227</td> </tr> <tr> <td>外来患者数</td> <td>139</td> <td>125</td> </tr> </tbody> </table>	区分	開催	緩和ケア勉強会	8	緩和ケア研修会	2	緩和ケア市民公開講座	1	区分\年度	H26	H27	入院患者数	3,806	3,227	外来患者数	139	125	IV	IV	救急車受入件数の増加、放射線治療及び精神科医療の充実などは評価できる。
年度	H26			H27																																																																					
	延患者数 (単位：人)	病床利用率 (単位：%)	延患者数 (単位：人)	病床利用率 (単位：%)																																																																					
ICU	1,740	59.6	1,656	56.6																																																																					
CCU	906	82.7	891	81.1																																																																					
HCU	1,887	57.4	1,914	58.1																																																																					
合計	4,533	62.1	4,461	60.9																																																																					
区分\年度	H26	H27																																																																							
受入台数	4,524	4,933																																																																							
一日平均台数	12.4	13.5																																																																							
区分\年度	H26	H27																																																																							
虚血性心疾患	18	28																																																																							
弁膜症	26	31																																																																							
大動脈	16	34																																																																							
区分	開催																																																																								
緩和ケア勉強会	8																																																																								
緩和ケア研修会	2																																																																								
緩和ケア市民公開講座	1																																																																								
区分\年度	H26	H27																																																																							
入院患者数	3,806	3,227																																																																							
外来患者数	139	125																																																																							

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																																																							
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																						
		<table border="1"> <tr> <td>その他</td> <td>34</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>94</td> <td>110</td> </tr> </table> <p>【手術・検査件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>心カテ</td> <td>1,028</td> <td>976</td> </tr> <tr> <td>PCI※</td> <td>411</td> <td>380</td> </tr> </tbody> </table> <p>※PCI：冠動脈形成術</p> <p>【循環器系】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アブレーション</td> <td>72</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>PMI※</td> <td>68</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>ICD※</td> <td>16</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table> <p>※PMI：ペースメーカー埋込 ICD：植え込み型除細動器</p> <p>【狭心症・心筋梗塞パス運用実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パス運用 (単位：件)</td> <td>112</td> <td>117</td> </tr> <tr> <td>登録医師数 (単位：人)</td> <td>72</td> <td>72</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 周産期医療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東濃地域の地域周産期母子医療センターとして、ハイリスク妊娠や分娩に対し、24 時間対応できる体制を維持確保した。現在の診療体制を維持、充実させるために継続して医師、助産師の確保、増員に努めた。</li> </ul> <p>【周産期母子医療センターの主な実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">分娩件数 (単位：件)</td> <td>494</td> <td>492</td> </tr> <tr> <td colspan="2">新生児数 (単位：人)</td> <td>529</td> <td>534</td> </tr> <tr> <td>年間</td> <td>NICU (単位：人)</td> <td>275</td> <td>264</td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>GCU (単位：人)</td> <td>461</td> <td>461</td> </tr> </tbody> </table>	その他	34	17	合計	94	110	区分\年	H26	H27	心カテ	1,028	976	PCI※	411	380	区分\年	H26	H27	アブレーション	72	73	PMI※	68	54	ICD※	16	16	項目\年度	H26	H27	パス運用 (単位：件)	112	117	登録医師数 (単位：人)	72	72	区分\年度		H26	H27	分娩件数 (単位：件)		494	492	新生児数 (単位：人)		529	534	年間	NICU (単位：人)	275	264	入院	GCU (単位：人)	461	461		
その他	34	17																																																										
合計	94	110																																																										
区分\年	H26	H27																																																										
心カテ	1,028	976																																																										
PCI※	411	380																																																										
区分\年	H26	H27																																																										
アブレーション	72	73																																																										
PMI※	68	54																																																										
ICD※	16	16																																																										
項目\年度	H26	H27																																																										
パス運用 (単位：件)	112	117																																																										
登録医師数 (単位：人)	72	72																																																										
区分\年度		H26	H27																																																									
分娩件数 (単位：件)		494	492																																																									
新生児数 (単位：人)		529	534																																																									
年間	NICU (単位：人)	275	264																																																									
入院	GCU (単位：人)	461	461																																																									

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																																																							
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																						
		<table border="1"> <tr> <td>者数</td> <td>産科 (単位:人)</td> <td>571</td> <td>575</td> </tr> <tr> <td></td> <td>母胎搬送件数 (単位:件)</td> <td>69</td> <td>79</td> </tr> <tr> <td></td> <td>新生児搬送件数 (単位:件)</td> <td>78</td> <td>84</td> </tr> </table> <p>3 がん医療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高精度放射線治療システム (ノバリスTx) で、より質の高い放射線治療を提供するなど、地域がん診療連携拠点病院として先進治療の実施に努めた。</li> </ul> <p>【がん患者等の状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">入院患者数 (単位:人)</td> <td>2,413</td> <td>2,622</td> </tr> <tr> <td colspan="2">外来患者数 (単位:人)</td> <td>1,252</td> <td>1,496</td> </tr> <tr> <td colspan="2">手術件数</td> <td>1,098</td> <td>1,108</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">化学療法件数</td> <td>入院</td> <td>936</td> <td>1,272</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>11,076</td> <td>11,894</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">放射線治療施行回数</td> <td>入院</td> <td>2,777</td> <td>3,031</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>6,246</td> <td>5,429</td> </tr> </tbody> </table> <p>【がんパス件数】 単位:件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table> <p>【高精度放射線治療システム (ノバリスTx)】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者数 (単位:人)</td> <td>203</td> <td>264</td> </tr> <tr> <td>延べ件数 (単位:件)</td> <td>3,957</td> <td>5,076</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 精神科医療・感染症医療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>精神科病棟で、感染症患者受入れを想定したN95 マスクのフィットテストなどを実施し、急性期総合病院に併設した特徴を生かすとともに</li> </ul>	者数	産科 (単位:人)	571	575		母胎搬送件数 (単位:件)	69	79		新生児搬送件数 (単位:件)	78	84	項目\年度		H26	H27	入院患者数 (単位:人)		2,413	2,622	外来患者数 (単位:人)		1,252	1,496	手術件数		1,098	1,108	化学療法件数	入院	936	1,272	外来	11,076	11,894	放射線治療施行回数	入院	2,777	3,031	外来	6,246	5,429	H26	H27	9	22	項目	H26	H27	患者数 (単位:人)	203	264	延べ件数 (単位:件)	3,957	5,076			
者数	産科 (単位:人)	571	575																																																									
	母胎搬送件数 (単位:件)	69	79																																																									
	新生児搬送件数 (単位:件)	78	84																																																									
項目\年度		H26	H27																																																									
入院患者数 (単位:人)		2,413	2,622																																																									
外来患者数 (単位:人)		1,252	1,496																																																									
手術件数		1,098	1,108																																																									
化学療法件数	入院	936	1,272																																																									
	外来	11,076	11,894																																																									
放射線治療施行回数	入院	2,777	3,031																																																									
	外来	6,246	5,429																																																									
H26	H27																																																											
9	22																																																											
項目	H26	H27																																																										
患者数 (単位:人)	203	264																																																										
延べ件数 (単位:件)	3,957	5,076																																																										

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己評価	評価委員会の検証										
					検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項									
		<p>に、東濃地域の唯一の結核指定医療機関及び感染症指定医療機関としての受入れ体制の継続をした。</p> <p>【患者の受入れ実績】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病床\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>結核、感染症</td> <td>3,023</td> <td>3,072</td> </tr> <tr> <td>精神科</td> <td>6,654</td> <td>6,937</td> </tr> </tbody> </table>	病床\年度	H26	H27	結核、感染症	3,023	3,072	精神科	6,654	6,937				
病床\年度	H26	H27													
結核、感染症	3,023	3,072													
精神科	6,654	6,937													

中期目標	<p>1-2 調査研究事業 法人で提供する医療の質の向上及び県内の医療水準の向上を図るための調査及び研究を行うことを求める。</p> <p>※ 調査及び臨床研究等の推進 高度・先進医療の各分野において、疫学調査や診断技法・治療法の開発、臨床応用のための研究を推進すること。 岐阜県及び東濃地域の医療の水準の向上に寄与する観点から、大学等の研究機関や企業との共同研究などを促進すること。</p> <p>※ 診療情報等の活用 電子カルテシステムを中心とする医療総合情報システムをより有効に活用し、診療等で得た情報を医療の質の向上に活用するとともに、他の医療機関への情報提供を行うこと。</p>
------	--

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己評価	評価委員会の検証										
					検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項									
06	<p>※ 調査及び臨床研究等の推進</p> <p>1 臨床研究及び治験の推進</p>		<p>1 臨床研究及び治験の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>治験施設支援機関の支援により、治験参加の有益性の啓発・啓蒙に努め、受託件数の増加を図ったが、実績はなかった。(●)</li> </ul> <p>【臨床研究及び治験件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>治験実施件数</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>臨床共同研究件数</td> <td>22</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H26	H27	治験実施件数	1	0	臨床共同研究件数	22	18	II	II	
区分\年度	H26	H27													
治験実施件数	1	0													
臨床共同研究件数	22	18													
07	<p>※ 診療情報等の活用</p> <p>1 医療総合情報システムに蓄積さ</p>	<p>2 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今までの日本病院会「Q I プロジェクト」に加え、今年度から</li> </ul>	<p>1 医療総合情報システムに蓄積された各種医療データの有効活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>10月から利用開始した岐阜県地域医療情報連携ネットワ</li> </ul>	III	III										

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
	れた各種医療データの有効活用  2 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用	全国自治体病院協議会「医療の質の評価・公表等推進事業」に参加して、経営管理指標、患者満足度、連携先満足度や褥瘡発生率など全24項目のC I、Q Iデータについて分析をするとともに、年報やホームページ上での公表を継続して行った。	ークシステム「ぎふ清流ネット」において、東濃地域の医療機関間相互で診療データの共有が行えるようにした。 (H27 登録医療機関 11 機関)			

中期 目標	<p>1-3 教育研修事業 医療の高度化・多様化に対応できるよう、医師・看護師・コメディカルを目指す学生及び救急救命士に対する教育、臨床研修医の受入れなど、地域の医療従事者への教育及び研修を実施することを求める。</p> <p>※ 医師の卒後臨床研修等の充実 研修医等の研修施設として認められた病院(臨床研修病院)として、臨床研修医及びレジデント(専門分野の研修医)の積極的な受入れを行うこと。 名古屋大学医学部附属病院、名古屋市立大学病院、岐阜大学医学部附属病院、岐阜県が設立した他の地方独立行政法人などの臨床研修病院との連携や、法人の有する人的・物的資源を生かした独自の臨床研修プログラムの開発など、質の高い医療従事者の養成に努めること。</p> <p>※ 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施 医学生、岐阜県立看護大学、岐阜県立衛生専門学校、岐阜県立看護専門学校等の学生及びコメディカルを目指す学生の実習の受入れ、救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実を図ること。</p>
----------	---

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証															
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項														
08	<p>※ 医師の卒後臨床研修等の充実</p> <p>1 質の高い医療従事者の養成</p> <p>2 後期研修医に対する研修等</p>	<p>1 質の高い医療従事者の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>臨床研修の質の改善・向上を図り、良い医師を育てる研修プログラムとするため、卒後臨床研修評価機構による施設調査を平成28年2月に受審し、平成28年3月にはその認定を受けた。</li> <li>今年度、コメディカル研修委員会を設置して合同研修会を実施し、最新の医療技術や知識習得を図った。</li> </ul> <p>【医師の研修派遣実績人数】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣</td> <td>458</td> <td>453</td> </tr> </tbody> </table> <p>【職員を対象とした外部講師開催実績】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>講演会等名</th> <th>講師</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27.5.8</td> <td>東日本大震災を経験して～災害</td> <td>岩手県立大船渡病院</td> <td>171</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H26	H27	派遣	458	453	開催日	講演会等名	講師	参加者	H27.5.8	東日本大震災を経験して～災害	岩手県立大船渡病院	171		IV	IV	
区分\年度	H26	H27																		
派遣	458	453																		
開催日	講演会等名	講師	参加者																	
H27.5.8	東日本大震災を経験して～災害	岩手県立大船渡病院	171																	

	医療と緩和ケア ～	緩和医療科長 村上 雅彦先生 脳神経外科長 山野目 辰味先生	
H27.8.6	カルバペネム耐 性腸内細菌科細 菌（CRE）感染症 と院内感染対策	名古屋大学大学 院医学研究科 教授 八木 哲也先生	514
H27.9.15	新しい医療事故 調査制度につい て	名古屋大学医学 部附属病院副病 院長 長尾 能雅先生	531
H27.12.4	人口減少社会に 向かう日本の医 療福祉の現状と 将来ー特に東濃 医療圏に焦点を 当ててー	国際医療福祉大 学大学院教授 高橋 泰先生	44

【研修医を対象とした外部講師開催実績】 単位：人

講演会等名	回数	講師	参加者
カルテはこう書け！	1	名古屋通信病院 病院長 三島 信彦先生	32
総合診療教育カンフ ァレンス	7	名古屋大学医学 部附属病院 総 合診療科 近藤 猛先生 目々澤 遥先生	延べ126

【コメディカル研修実績】 単位：人

開催日	研修名	内容	参加者
H27.10.6 H27.10.7 H27.10.13	階層別研修	ブレイン スト ーミング	23
H27.11.11	研修講演会	日本の医療の現 状と県病院の今 後の展望	132

		<table border="1"> <tr> <td>H27. 12. 17</td> <td>研修講演会</td> <td>医療現場におけるコーチング基礎編</td> <td>101</td> </tr> <tr> <td>H28. 1. 27</td> <td>職場体験</td> <td>中央放射線部</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>H28. 2. 16</td> <td>技術課長補佐級出張研修伝達講習会</td> <td>リーダーコミュニケーション研修 他</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>H28. 3. 17</td> <td>管理職出張研修伝達講習会</td> <td>薬剤管理研修会報告 他</td> <td>8</td> </tr> </table> <p>【初期臨床研修医数】 単位：人（各年度末時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>18</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 後期研修医に対する研修等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新専門医制度について、外科領域と内科領域でプログラム申請をし、後期研修医の基幹施設として体制を進めた。</li> <li>・ 上矢作病院勤務の医師を、後期研修医として週1回受け入れて研修指導をした。</li> </ul> <p>【後期研修医（レジデント）数】 単位：人（各年度末時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>12</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	H27. 12. 17	研修講演会	医療現場におけるコーチング基礎編	101	H28. 1. 27	職場体験	中央放射線部	5	H28. 2. 16	技術課長補佐級出張研修伝達講習会	リーダーコミュニケーション研修 他	22	H28. 3. 17	管理職出張研修伝達講習会	薬剤管理研修会報告 他	8	区分\年度	H26	H27	医師	18	18	歯科医師	2	2	区分\年度	H26	H27	医師	12	11	歯科医師	1	1			
H27. 12. 17	研修講演会	医療現場におけるコーチング基礎編	101																																				
H28. 1. 27	職場体験	中央放射線部	5																																				
H28. 2. 16	技術課長補佐級出張研修伝達講習会	リーダーコミュニケーション研修 他	22																																				
H28. 3. 17	管理職出張研修伝達講習会	薬剤管理研修会報告 他	8																																				
区分\年度	H26	H27																																					
医師	18	18																																					
歯科医師	2	2																																					
区分\年度	H26	H27																																					
医師	12	11																																					
歯科医師	1	1																																					
09	<p>※ 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施</p> <p>1 医学生、看護学生やコメディカルを目指す学生の実習受入れ</p> <p>2 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実</p>	<p>1 医学生、看護学生やコメディカルを目指す学生の実習受入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医学生については、名古屋大学、名古屋市立大学、岐阜大学など関連大学から、看護学生やコメディカルは専門学校や大学からの実習を積極的に受け入れた。今後は、学生見学を中心に受入れの充実を図る。(●)</li> </ul> <p>【学生の実習受入れ状況】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医学生</td> <td>22</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>看護学生</td> <td>567</td> <td>541</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>60</td> <td>51</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H26	H27	医学生	22	32	看護学生	567	541	コメディカル	60	51	III	III	<p>実習等の受入れについて、IVを目指した積極的な取組に期待する。</p>																						
区分\年度	H26	H27																																					
医学生	22	32																																					
看護学生	567	541																																					
コメディカル	60	51																																					

			<table border="1"> <tr> <td>合 計</td> <td>649</td> <td>624</td> </tr> </table> <p>【医学生の見学受入れ状況】 単位：人</p> <table border="1"> <tr> <td>H26</td> <td>H27</td> </tr> <tr> <td>36</td> <td>32</td> </tr> </table> <p>2 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>救急救命士の生涯教育実習、就業前実習、気管挿管実習、薬剤投与実習を定期的に行い、医療技術の向上を図った。</li> </ul> <p>【救急救命士の研修実績状況】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生涯教育実習</td> <td>72</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>就業前実習</td> <td>6</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>気管挿管実習</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>薬剤投与実習</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>82</td> <td>73</td> </tr> </tbody> </table>	合 計	649	624	H26	H27	36	32	区分\年度	H26	H27	生涯教育実習	72	64	就業前実習	6	8	気管挿管実習	3	1	薬剤投与実習	1	0	合 計	82	73			
合 計	649	624																													
H26	H27																														
36	32																														
区分\年度	H26	H27																													
生涯教育実習	72	64																													
就業前実習	6	8																													
気管挿管実習	3	1																													
薬剤投与実習	1	0																													
合 計	82	73																													

中期目標	<p>1-4 地域支援事業 地域の医療機関から信頼され、必要とされる病院となるよう、地域への支援を行うことを求める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 地域医療への支援 地域の医療機関との連携・協力体制の充実を図り、高度先進医療機器の共同利用の促進、開放病床の利用促進など、地域基幹病院として地域医療の確保に努めること。 医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援を積極的に行うこと。</li> <li>※ 社会的な要請への協力 法人が有する人材や知見を提供し、鑑定、調査、講師派遣などの社会的な要請に対し、積極的な協力を行うこと。</li> <li>※ 保健医療情報の提供・発信 県民の健康意識の醸成を図るため、専門医療情報など病院が有する保健医療情報を、県民を対象とした公開講座やホームページなどにより情報発信を行うこと。</li> </ul>
------	--

項目No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己評価	評価委員会の検証			
					検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項		
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 地域医療への支援</li> <li>1 地域医療水準の向上</li> <li>2 医師不足地域の医療機関やへき</li> </ul>	<p>2 医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中津川市民病院の精神科に医師を派遣するなど、医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援を継続した。</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>派遣医療機関</td> <td>派遣状況</td> </tr> </table>	派遣医療機関	派遣状況	<p>1 地域医療水準の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年4回開催した地域医療連携推進協議会を通じ、医師会長をはじめとする関係者に医療連携の推進、高度医療機器、開放型病床の利用促進を図るとともに、医療連携講演会、症例検討会等を開催して地域医療の質の向上に努めた。</li> </ul>	IV	IV	東濃医療圏の基幹病院として、へき地医療にも貢献しており、高く評価できる。さらなる貢献を
派遣医療機関	派遣状況							

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組		その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																
						検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項															
	地医療機関への診療支援	国民健康保険上矢作病院	週1日(当直業務を含む) 延べ51人 研修医を5ヶ月(延べ5人)				期待したい。															
		中津川市民病院	脳神経外科 5/1から3/31の毎週木曜日 1人(2人で隔週交代) 精神科 9/1から12/31 毎週水曜日 1人(2人で隔週交代)																			
11	※ 社会的な要請への協力			<ul style="list-style-type: none"> <li>近隣の病院や施設へ、精神医学の講義など専門分野への講演・技術指導の要請に応じた医師、認定看護師や専門看護師、コメディカルを講師として派遣した。</li> </ul> <p>【講師等派遣の状況】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>136</td> <td>171</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>52</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>20</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>208</td> <td>226</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H26	H27	医師	136	171	看護師	52	32	コメディカル	20	23	合計	208	226	III	III	
区分\年度	H26	H27																				
医師	136	171																				
看護師	52	32																				
コメディカル	20	23																				
合計	208	226																				
12	※ 保健医療情報の提供・発信 1 公開講座、医療相談会等の開催 2 保健医療、健康管理等の情報提供	1 公開講座、医療相談会等の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>市民公開講座・緩和ケア市民公開講座や、医師、看護師等が公民館に出向く健康づくり講座などを行った。</li> </ul> <p>【市民を対象とした公開講座、医療相談等開催実績】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>公開講座等名</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28. 1. 11</td> <td>市民公開講座 消化管(食べ物の通り道)の がん〜その治療とサポート〜</td> <td>316</td> </tr> <tr> <td>H27. 11. 14</td> <td>緩和ケア市民公開講座 これからの生き方を考える 〜とらわれない生き方〜</td> <td>435</td> </tr> <tr> <td>年12回</td> <td>健康づくり講座 消化管の腹腔鏡を用いた手術</td> <td>329</td> </tr> </tbody> </table>		開催日	公開講座等名	参加者	H28. 1. 11	市民公開講座 消化管(食べ物の通り道)の がん〜その治療とサポート〜	316	H27. 11. 14	緩和ケア市民公開講座 これからの生き方を考える 〜とらわれない生き方〜	435	年12回	健康づくり講座 消化管の腹腔鏡を用いた手術	329	2 保健医療、健康管理等の情報提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>脳卒中の予防や、膵臓がんに関する新聞特集記事や新聞広告誌「病院を知ろう」の発行などで医療情報を積極的に提供した。</li> </ul>	III	III				
開催日	公開講座等名	参加者																				
H28. 1. 11	市民公開講座 消化管(食べ物の通り道)の がん〜その治療とサポート〜	316																				
H27. 11. 14	緩和ケア市民公開講座 これからの生き方を考える 〜とらわれない生き方〜	435																				
年12回	健康づくり講座 消化管の腹腔鏡を用いた手術	329																				

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組		その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証	
						検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
			について 他				
		H27. 11. 1	秋まつり ブースにて血管年齢測定など を実施	697			

中期 目標	1-5 災害等発生時における医療救護	災害等発生時において、医療救護活動の拠点機能を担うとともに、医療スタッフや災害派遣医療チーム(以下「DMAT」という。)の派遣など医療救護を行うことを求める。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 医療救護活動の拠点機能の充実 災害等発生時には、岐阜県地域防災計画に基づき、患者の受け入れや医療スタッフの現地派遣など本県あるいは東濃地域の医療救護活動の拠点機能を担うこと。 災害拠点病院としての機能を十分に発揮できるように、医療物資(医薬品、診療材料、給食材料など)の優先納入体制の整備など災害時医療体制の充実・強化を図ること。</li> <li>※ 他県等の医療救護への協力 県内のみならず他県等の大規模災害等においても、岐阜県の要請に基づきDMATを派遣するなど、積極的に医療救護の協力を行うこと。</li> <li>※ 被災時における病院機能維持のための準備体制の確立 大規模災害等緊急事態を想定した業務継続計画の作成及び訓練等を実施すること。</li> <li>※ 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮 新型インフルエンザ等(新型インフルエンザ等対策特別措置法第2条に規定する新型インフルエンザ等をいう。以下同じ。)発生時には、指定地方公共機関として、業務計画に基づき、新型インフルエンザ等の患者の外来診療・入院の受け入れ、重症症例の治療等を行うこと。 感染症指定医療機関として、平時から患者を受け入れられる体制を整備するとともに、東濃地域の医療機関に対して医療情報の提供など指導的役割を担うこと。</li> </ul>	

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証												
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項											
13	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 医療救護活動の拠点機能の充実</li> <li>1 医療救護活動の拠点機能の充実</li> <li>2 災害拠点病院としての機能強化及び指導的役割の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2 災害拠点病院としての機能強化及び指導的役割の推進</li> <li>・ 災害時のガス供給確保のため、経済産業省による補助金(平成27年度石油製品利用促進対策事業補助金)を活用し、「石油ガス災害バルク」を設置した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 医療救護活動の拠点機能の充実</li> <li>・ 大規模災害を想定した災害実働訓練や、夜間などを想定した消防訓練を実施して機能を検証した。また、災害時に活用する備品(ヘルメット、ライトなど)を整備した。</li> </ul> <p>【災害訓練の実績】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>災害実働訓練</td> <td>10月8日</td> <td>消防、保健所、岐阜県DMATの参加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">消防訓練</td> <td>7月29日</td> <td>夜間想定</td> </tr> <tr> <td>1月27日</td> <td>被災状況確認に無線</td> </tr> </tbody> </table>		開催日	備考	災害実働訓練	10月8日	消防、保健所、岐阜県DMATの参加	消防訓練	7月29日	夜間想定	1月27日	被災状況確認に無線	Ⅲ	Ⅲ	
	開催日	備考															
災害実働訓練	10月8日	消防、保健所、岐阜県DMATの参加															
消防訓練	7月29日	夜間想定															
	1月27日	被災状況確認に無線															

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証										
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項									
			機・電カルを使用												
14	※ 他県等の医療救護への協力  1 DMATの質の向上と維持  2 大規模災害発生時のDMATの派遣	2 大規模災害発生時のDMATの派遣 ・ DMAT派遣をした時に、岐阜DMAT指定病院間で連絡を行うための防災相互通信用無線を整備した。 ※岐阜DMAT指定病院：岐阜大学病院ほか9病院 ・ 大規模災害発生時の医療活動派遣のためのDMAT 2チームの他に、精神科医療活動や一般住民の「こころのケア」に対する支援も担う災害派遣精神医療チーム（DPAT：Disaster Psychiatric Assistance Team）の体制を構築し、派遣に向けた準備をした。	1 DMATの質の向上と維持 ・ 国（厚生労働省）、中部地区、県などが関係する訓練に積極的に参加し、質の維持と向上を図った。  <b>【主なDMAT活動訓練等実績】</b> <span style="float:right">単位：人</span> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:20%;">実施期間</th> <th style="width:50%;">訓練内容</th> <th style="width:30%;">参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27. 11. 8～9</td> <td>中部ブロック DMAT 実働訓練</td> <td style="text-align:center">8</td> </tr> <tr> <td>H28. 2. 22</td> <td>岐阜 DMAT 連絡会議</td> <td style="text-align:center">3</td> </tr> </tbody> </table>	実施期間	訓練内容	参加人数	H27. 11. 8～9	中部ブロック DMAT 実働訓練	8	H28. 2. 22	岐阜 DMAT 連絡会議	3	IV	IV	DMAT とともに DPAT にも期待したい。
実施期間	訓練内容	参加人数													
H27. 11. 8～9	中部ブロック DMAT 実働訓練	8													
H28. 2. 22	岐阜 DMAT 連絡会議	3													
15	※ 被災時における病院機能維持のための準備体制の確立  1 診療継続計画の作成及び訓練等による体制の整備  2 診療情報のバックアップシステムの構築		1 診療継続計画の作成及び訓練等による体制の整備 ・ 業務継続計画の講演会開催や先進事例の研究、ICU、NICU、GCUにてミッション作成検討会などを行い、災害実働訓練での検証や災害対応マニュアルの改訂、消防職員による研修会を実施した。  2 診療情報のバックアップシステムの構築 ・ 外部の場所にバックアップした診療情報を、被災時に活用できるシステムの構築のための検討を進めた。	III	III										
16	※ 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮  1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備  2 業務計画等に基づく職員への教育及び訓練の実施  3 感染症指定医療機関としての役割の発揮		1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備 ・ 感染症病棟の職員を対象に防護具の着脱訓練を実施し、鳥インフルエンザなどの2類感染症受入れ体制の整備を行った。  2 業務計画等に基づく職員への教育及び訓練の実施 ・ 平成27年11月27日県主催で開催された平成27年度インフルエンザ等対策訓練に参加し、病院機能が継続できる体制を進めた。併せて、感染対策マニュアルの改訂を進めた。  3 感染症指定医療機関としての役割の発揮	III	III										

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
			<ul style="list-style-type: none"> <li>東濃地域新型インフルエンザ等対策会議に参加をして、受入れ体制について意見交換を行った。</li> <li>保健所から、MERS発生国からの帰国者が発熱した時は受入れを要請する旨の連絡があり、受入れができる体制をとった。(発症はなかった。)</li> </ul>			

## 2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

中期 目標	2-1 効率的な業務運営体制の確立	自律性・機動性・効率性の高い病院運営を行うための業務運営体制を確立するとともに、地方独立行政法人制度の特徴を最大限に生かし、業務運営の改善及び効率化に努めることを求める。
	※ 効果的な組織体制の確立	医療を取り巻く環境の変化に迅速かつ的確に対応するため、組織・業務体制の改善及び充実を図ること。 ITの活用とアウトソーシングを適切に進めるとともに、経営企画機能を強化し、経営効率の高い業務執行体制を確立すること。 危機管理事案等発生時における情報共有体制を確立すること。
	※ 診療体制及び人員配置の弾力的運用	医療需要の変化に迅速に対応するため、診療科の変更や医師、看護師等の配置の弾力的運用を行うこと。 常勤以外の雇用形態も含めた多様な専門職の活用による、効果的な医療の提供に努めること。
	※ 人事評価システムの構築	職員のモチベーション向上のため、知識、能力、経験、勤務実績等を反映させた新たな公平で客観的な人事評価制度の構築を図ること。
	※ 事務部門の専門性の向上	事務部門において、病院特有の事務に精通した法人の職員を計画的に確保し、及び育成することにより、事務部門の専門性を向上すること。
	※ コンプライアンス(法令や倫理の遵守)の徹底	職員一人ひとりが誠実かつ公正に職務を遂行するため、業務執行におけるコンプライアンスを徹底し、適正な病院運営を行うこと。
	※ 適切な情報管理	業務の情報化に対応して、情報セキュリティ対策に努めること。

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
17	※ 効果的な組織体制の確立  1 効率的かつ効果的な組織体制の充実	4 経営効率の高い業務執行体制の確立 ・ 契約業務の適正化、及び改善・向上対策を図るため、医療コンサルタントの活用や、委託業務に関する評価システムを導入し契約業務の評価を行った。	1 効率的かつ効果的な組織体制の充実 ・ 施設管理課の設置など組織・業務体制の見直しを行った。 ※ 平成 28 年度に管理課を設置、経営企画課を企画財務課に改編	Ⅲ	Ⅲ	職員からの改善提案の募集など評価できる取組について、その効果に期待

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
	2 各種業務のIT化の推進 3 アウトソーシング導入などによる合理化 4 経営効率の高い業務執行体制の確立 5 危機管理事案等発生時における情報共有体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>病院経営の向上に関する改善提案や省エネ・省資源アイデア(効果・実現可能性・動入コスト・利便性の視点から評価)を職員から募集し、今後の業務に活用した。</li> </ul>	2 各種業務のIT化の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>Microsoft Office や携帯情報端末などのIT研修会を実施するとともに、医療総合情報システムのプログラム改修を行い操作性の向上を図った。</li> </ul> 3 アウトソーシング導入などによる合理化 <ul style="list-style-type: none"> <li>業務委託しているSPDを活用して、手術室などで使用する診療材料の管理が可能となった。</li> </ul> 5 危機管理事案等発生時における情報共有体制の確立 <ul style="list-style-type: none"> <li>年2回、緊急連絡システム配信試験を実施し、職員の安否確認訓練を行った。</li> </ul>			したい。
18	※ 診療体制及び人員配置の弾力的運用 1 弾力的運用の実施 2 効果的な体制による医療の提供 3 3法人間の人事交流による適正な職員配置	2 効果的な体制による医療の提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>今年度から「医師クラークキャリア形成支援制度」を導入し、配置体制の拡充、研修の実施と能力評定による資質向上を図った。また、医師クラークを43人配置することにより、医師事務補助体制15対1の充足となり、より質の高い医療の提供となった。</li> </ul> <b>【研修の実施】</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>日本医師事務作業補助研究会への参加(10人) 学習した内容は、資料の回覧や医師クラークミーティングでの発表により、全員にフィードバック</li> <li>院内研修会の開催(60回)</li> <li>新規採用者に35時間の研修を実施</li> </ol>	1 弾力的運用の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>看護体制の強化のため以下の取り組みを行った。               <ol style="list-style-type: none"> <li>育児部分休業や短時間勤務制度の利用</li> <li>夜勤専従看護師の配置</li> <li>短時間就労制の実施</li> <li>職場復帰支援プログラムの実施</li> </ol> </li> </ul> 3 3法人間の人事交流による適正な職員配置 <ul style="list-style-type: none"> <li>医師、看護師やコメディカルなどの医療従事者の人事交流実績はなかった。</li> </ul>	Ⅲ	Ⅲ	
19	※ 人事評価システムの構築		<ul style="list-style-type: none"> <li>業績評価における期首面談時期を早め、また業績評価や勤務評定の見直しを実施することで、より適確な評価の実施を図った。</li> </ul>	Ⅲ	Ⅲ	
20	※ 事務部門の専門性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度、事務部門の専門・階層別研修に関する方針・計画を作</li> </ul>		Ⅳ	Ⅳ	事務部門の専門性

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証															
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項														
		<p>成し、外部講師等を活用した研修を実施するとともに、研修成果の院内報告会を開催するなどして研修効果の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>管理職が、経営管理や人事・労務管理のためのセミナー等に参加した。</li> </ul> <p><b>【新規採用職員の主な研修】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①マナー・コミュニケーション研修</li> <li>②ワークショップ研修～配属からこれまでを振り返って</li> </ul> <p><b>【階層別研修】</b></p> <p>＜主事＞キャリアデザインワーク研修          ＜主任/主査＞コミュニケーション研修～調整力・交渉力発揮          ＜課長補佐＞①中堅社員研修～管理職を補佐し、部の成果を出す！          ②部下の指導・育成目標管理、トラブル対応</p> <p><b>【管理職セミナー等参加実績】</b> <span style="float:right">単位：人</span></p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>研 修 会 名</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27.9.18</td> <td>医療経営セミナー～管理会計を用いた病院経営の取り組み～</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>H27.9.18</td> <td>医療施設整備・機能強化セミナー</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>H27.9.29</td> <td>自治体病院における人事評価制度構築セミナー</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>他7研修・セミナー</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	研 修 会 名	参加者数	H27.9.18	医療経営セミナー～管理会計を用いた病院経営の取り組み～	1	H27.9.18	医療施設整備・機能強化セミナー	1	H27.9.29	自治体病院における人事評価制度構築セミナー	1	その他	他7研修・セミナー	7			<p>の向上は自治体病院の経営の要であるため、さらなる努力に期待したい。</p>
開催日	研 修 会 名	参加者数																		
H27.9.18	医療経営セミナー～管理会計を用いた病院経営の取り組み～	1																		
H27.9.18	医療施設整備・機能強化セミナー	1																		
H27.9.29	自治体病院における人事評価制度構築セミナー	1																		
その他	他7研修・セミナー	7																		
21	※ コンプライアンス(法令や倫理の遵守)の徹底		<ul style="list-style-type: none"> <li>会議や各部署への通知により、全職員に就業規則(特に兼業禁止)、医療法などのコンプライアンスの確認と徹底を図った。今後も、定期的にコンプライアンスの徹底を図っていく。</li> </ul>	Ⅲ	Ⅲ	今後一層の努力を期待する。														
22	※ 適切な情報管理		<ul style="list-style-type: none"> <li>マイナンバー制度の実施に向けて、適切な個人情報の収集・管理の方法等について、ガイドラインに沿った体制の整備を進めた。</li> </ul>	Ⅲ	Ⅲ	今後一層の努力を期待する。														

中期 目標	2-2 業務運営の見直しや効率化による収支の改善 地方独立行政法人制度の特徴を生かした業務内容の見直しや効率化を通じて、収支の改善を図ることを求める。
	※ 多様な契約手法の導入 透明性・公平性の確保に十分留意しつつ、複数年契約や複合契約など多様な契約手法を導入し、契約事務の合理化を図ること。
	※ 収入の確保 地域社会のニーズに即した病院経営を行うことにより、病床利用率や医療機器の稼働率を高め、収入の確保に努めること。 さらに、安定した経営を維持するため、国の医療制度改革や診療報酬改定等に速やかに対応すること。
	※ 費用の削減 薬剤・診療材料の購入方法の見直し、在庫管理の徹底、後発医薬品(ジェネリック医薬品)の採用などにより費用の節減に努めること。

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																																														
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																													
23	※ 多様な契約手法の導入		<ul style="list-style-type: none"> <li>「清掃管理」「施設管理」などの業務委託について、複数年契約やプロポーザル方式による業者選定を実施した。</li> </ul>	III	III																																														
24	※ 収入の確保  1 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用、DPCの推進  2 未収金の発生防止対策等  3 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応	1 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用、DPCの推進 ・ DPCデータを基にした分析システムを活用し、病院の現状を明確化することにより診療報酬に直接関係のあるDPC機能評価係数を上げることができ、経営向上、医療の質向上を図った。 ※ DPC機能評価係数Ⅱ H26 年度係数 0.05620 H27 年度係数 0.0643  <b>【病床管理状況】</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規入院患者(単位:人)</td> <td>13,847</td> <td>13,984</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">病床稼働率 (単位:%)</td> <td>全体 75.8</td> <td>74.8</td> </tr> <tr> <td>一般 88.4</td> <td>87.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">平均在院日数 (単位:日)</td> <td>全体 11.5</td> <td>11.3</td> </tr> <tr> <td>一般 10.9</td> <td>10.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">一人当たり 入院単価 (単位:円)</td> <td>全体 61,860</td> <td>63,511</td> </tr> <tr> <td>一般 64,417</td> <td>66,210</td> </tr> </tbody> </table> ※病床利用率・平均在院日数:休床を除く	項目\年度	H26	H27	新規入院患者(単位:人)	13,847	13,984	病床稼働率 (単位:%)	全体 75.8	74.8	一般 88.4	87.3	平均在院日数 (単位:日)	全体 11.5	11.3	一般 10.9	10.6	一人当たり 入院単価 (単位:円)	全体 61,860	63,511	一般 64,417	66,210	2 未収金の発生防止対策等 ・ 弁護士事務所への未収金回収委託を継続し、未収金管理システムを活用して債権の徴収状況を定期的に把握しながら効果的な回収を進めた。  <b>【未収金の発生状況】</b> (各年度末時点※) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H26</th> <th colspan="2">H27</th> </tr> <tr> <th>件数 (単位:件)</th> <th>金額 (単位:千円)</th> <th>件数 (単位:件)</th> <th>金額 (単位:千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過 年 分</td> <td>613</td> <td>37,086</td> <td>483</td> <td>33,903</td> </tr> <tr> <td>現 年 分</td> <td>252</td> <td>17,964</td> <td>281</td> <td>17,061</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>865</td> <td>55,050</td> <td>764</td> <td>50,964</td> </tr> </tbody> </table> ※年度末時点での4月以降の診療報酬収納分を除く  3 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応 ・ 中央社会保険医療協議会における検討状況について、厚労省HP、関連ニュースサイトの情報を通じて、診療報酬委員会に		H26		H27		件数 (単位:件)	金額 (単位:千円)	件数 (単位:件)	金額 (単位:千円)	過 年 分	613	37,086	483	33,903	現 年 分	252	17,964	281	17,061	合 計	865	55,050	764	50,964	III	III	
項目\年度	H26	H27																																																	
新規入院患者(単位:人)	13,847	13,984																																																	
病床稼働率 (単位:%)	全体 75.8	74.8																																																	
	一般 88.4	87.3																																																	
平均在院日数 (単位:日)	全体 11.5	11.3																																																	
	一般 10.9	10.6																																																	
一人当たり 入院単価 (単位:円)	全体 61,860	63,511																																																	
	一般 64,417	66,210																																																	
	H26		H27																																																
	件数 (単位:件)	金額 (単位:千円)	件数 (単位:件)	金額 (単位:千円)																																															
過 年 分	613	37,086	483	33,903																																															
現 年 分	252	17,964	281	17,061																																															
合 計	865	55,050	764	50,964																																															

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																															
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																														
		(参考) <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一日当たり外来患者数 (単位:人)</td> <td>1,213</td> <td>1,191</td> </tr> <tr> <td>一人当たり外来単価 (単位:円)</td> <td>14,829</td> <td>15,963</td> </tr> </tbody> </table>	項目\年度	H26	H27	一日当たり外来患者数 (単位:人)	1,213	1,191	一人当たり外来単価 (単位:円)	14,829	15,963	情報提供を行い、平成 28 年度に向けた早期算定の準備を進めた。																								
項目\年度	H26	H27																																		
一日当たり外来患者数 (単位:人)	1,213	1,191																																		
一人当たり外来単価 (単位:円)	14,829	15,963																																		
25	※ 費用の削減  1 在庫管理の徹底などによる費用の削減  2 有効性・安全性に考慮した後発医薬品の採用	2 有効性・安全性に考慮した後発医薬品の採用 ・ 薬品費削減ならびに診療報酬上の観点から各診療科へ説明と協力を働きかけ、数量ベースで後発採用率 80%以上の目標を達成した。医薬品採用については、名称誤認に配慮した医療安全面と後発医薬品の安定供給等の要素を考慮した製剤選択を行った。  <b>【後発医薬品(ジェネリック)の使用比率】</b> 単位: % <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品目ベース</td> <td>68.58</td> <td>69.90</td> </tr> <tr> <td>数量ベース</td> <td>76.22</td> <td>82.44</td> </tr> <tr> <td>金額ベース</td> <td>41.22</td> <td>35.70</td> </tr> </tbody> </table> ※使用比率は後発医薬品がある中での割合	区分\年度	H26	H27	品目ベース	68.58	69.90	数量ベース	76.22	82.44	金額ベース	41.22	35.70	1 在庫管理の徹底などによる費用の削減 ・ 在庫定数見直しを全体として年 2 回実施し、個別の協議・見直しを随時実施した。また、SPD委託業者の点検・評価を行うとともに、医療コンサルタントによる履行状況確認、品目切り替えるなどをして、医薬品及び診療材料費の削減に努めた。  <b>【医薬収益に対する材料費比率】</b> 単位: % <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>14.51</td> <td>15.62</td> </tr> <tr> <td>診療材料費</td> <td>10.08</td> <td>10.12</td> </tr> </tbody> </table>  <b>【薬品費及び診療材料費】</b> 単位: 千円 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>2,261,872</td> <td>2,459,254</td> </tr> <tr> <td>診療材料費</td> <td>1,570,945</td> <td>1,592,602</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H26	H27	薬品費	14.51	15.62	診療材料費	10.08	10.12	区分\年度	H26	H27	薬品費	2,261,872	2,459,254	診療材料費	1,570,945	1,592,602	III	III	
区分\年度	H26	H27																																		
品目ベース	68.58	69.90																																		
数量ベース	76.22	82.44																																		
金額ベース	41.22	35.70																																		
区分\年度	H26	H27																																		
薬品費	14.51	15.62																																		
診療材料費	10.08	10.12																																		
区分\年度	H26	H27																																		
薬品費	2,261,872	2,459,254																																		
診療材料費	1,570,945	1,592,602																																		

### 3 予算(人件費の見積含む。)、収支計画及び資金計画

中期 目標	※ 経常収支比率 業務運営の改善及び効率化を効果的に進めることで、経常収支比率 100%以上を達成すること。 ※ 職員給与費対医薬収益比率 職員給与費対医薬収益比率については、同規模の全国自治体病院のうち黒字病院であるものの当該比率の平均値を参考に、中期計画にその目標を定め、中期目標期間の最終年度までに達成すること。
----------	--

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																																																																																																					
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																																																																				
26	「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を効果的に進めるなどして、経常収支比率100%以上及び職員給与費対医業収益比率を50%以下とすることを旨とする。		<ul style="list-style-type: none"> <li>医業収益の増と経費節減などの努力によって、経常収支比率100.5%となった。職員給与費対医業収益比率は目標の50%以下を上回ったため、業務の効率化や医業収益の更なる増収を目指していく。</li> </ul> <p>【経常収支比率・職員給与費対医業収益比率】 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支</td> <td>101.6</td> <td>100.5</td> </tr> <tr> <td>職員給与費</td> <td>50.6</td> <td>51.5</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H26	H27	経常収支	101.6	100.5	職員給与費	50.6	51.5	III	III	経常収支比率が年度計画を上回っており評価できる。																																																																																											
区分\年度	H26	H27																																																																																																								
経常収支	101.6	100.5																																																																																																								
職員給与費	50.6	51.5																																																																																																								
1	予算 (単位：百万円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td colspan="2">収入</td></tr> <tr><td>営業収益</td><td>17,058</td></tr> <tr><td>  医業収益</td><td>16,080</td></tr> <tr><td>  運営費負担金収益</td><td>906</td></tr> <tr><td>  その他営業収益</td><td>72</td></tr> <tr><td>営業外収益</td><td>96</td></tr> <tr><td>  運営費負担金収益</td><td>56</td></tr> <tr><td>  その他営業外収益</td><td>40</td></tr> <tr><td>資本収入</td><td>485</td></tr> <tr><td>  長期借入金</td><td>214</td></tr> <tr><td>  運営費負担金</td><td>271</td></tr> <tr><td>  その他資本収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他の収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>計</td><td>17,639</td></tr> <tr><td colspan="2">支出</td></tr> <tr><td>営業費用</td><td>15,377</td></tr> <tr><td>  医業費用</td><td>14,992</td></tr> <tr><td>    給与費</td><td>7,769</td></tr> <tr><td>    材料費</td><td>4,498</td></tr> <tr><td>    経費</td><td>2,623</td></tr> <tr><td>    研究研修費</td><td>102</td></tr> <tr><td>  一般管理費</td><td>385</td></tr> <tr><td>    給与費</td><td>251</td></tr> <tr><td>    経費</td><td>134</td></tr> </tbody> </table>	区 分	金 額	収入		営業収益	17,058	医業収益	16,080	運営費負担金収益	906	その他営業収益	72	営業外収益	96	運営費負担金収益	56	その他営業外収益	40	資本収入	485	長期借入金	214	運営費負担金	271	その他資本収入	0	その他の収入	0	計	17,639	支出		営業費用	15,377	医業費用	14,992	給与費	7,769	材料費	4,498	経費	2,623	研究研修費	102	一般管理費	385	給与費	251	経費	134		決算 (単位：百万円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td colspan="2">収入</td></tr> <tr><td>営業収益</td><td>17,318</td></tr> <tr><td>  医業収益</td><td>16,296</td></tr> <tr><td>  運営費負担金収益</td><td>952</td></tr> <tr><td>  その他営業収益</td><td>70</td></tr> <tr><td>営業外収益</td><td>102</td></tr> <tr><td>  運営費負担金収益</td><td>56</td></tr> <tr><td>  その他営業外収益</td><td>46</td></tr> <tr><td>資本収入</td><td>538</td></tr> <tr><td>  長期借入金</td><td>214</td></tr> <tr><td>  運営費負担金</td><td>321</td></tr> <tr><td>  その他資本収入</td><td>3</td></tr> <tr><td>その他の収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>計</td><td>17,958</td></tr> <tr><td colspan="2">支出</td></tr> <tr><td>営業費用</td><td>15,277</td></tr> <tr><td>  医業費用</td><td>14,920</td></tr> <tr><td>    給与費</td><td>7,708</td></tr> <tr><td>    材料費</td><td>4,470</td></tr> <tr><td>    経費</td><td>2,688</td></tr> <tr><td>    研究研修費</td><td>54</td></tr> <tr><td>  一般管理費</td><td>357</td></tr> <tr><td>    給与費</td><td>273</td></tr> <tr><td>    経費</td><td>84</td></tr> </tbody> </table>	区 分	金 額	収入		営業収益	17,318	医業収益	16,296	運営費負担金収益	952	その他営業収益	70	営業外収益	102	運営費負担金収益	56	その他営業外収益	46	資本収入	538	長期借入金	214	運営費負担金	321	その他資本収入	3	その他の収入	0	計	17,958	支出		営業費用	15,277	医業費用	14,920	給与費	7,708	材料費	4,470	経費	2,688	研究研修費	54	一般管理費	357	給与費	273	経費	84			
区 分	金 額																																																																																																									
収入																																																																																																										
営業収益	17,058																																																																																																									
医業収益	16,080																																																																																																									
運営費負担金収益	906																																																																																																									
その他営業収益	72																																																																																																									
営業外収益	96																																																																																																									
運営費負担金収益	56																																																																																																									
その他営業外収益	40																																																																																																									
資本収入	485																																																																																																									
長期借入金	214																																																																																																									
運営費負担金	271																																																																																																									
その他資本収入	0																																																																																																									
その他の収入	0																																																																																																									
計	17,639																																																																																																									
支出																																																																																																										
営業費用	15,377																																																																																																									
医業費用	14,992																																																																																																									
給与費	7,769																																																																																																									
材料費	4,498																																																																																																									
経費	2,623																																																																																																									
研究研修費	102																																																																																																									
一般管理費	385																																																																																																									
給与費	251																																																																																																									
経費	134																																																																																																									
区 分	金 額																																																																																																									
収入																																																																																																										
営業収益	17,318																																																																																																									
医業収益	16,296																																																																																																									
運営費負担金収益	952																																																																																																									
その他営業収益	70																																																																																																									
営業外収益	102																																																																																																									
運営費負担金収益	56																																																																																																									
その他営業外収益	46																																																																																																									
資本収入	538																																																																																																									
長期借入金	214																																																																																																									
運営費負担金	321																																																																																																									
その他資本収入	3																																																																																																									
その他の収入	0																																																																																																									
計	17,958																																																																																																									
支出																																																																																																										
営業費用	15,277																																																																																																									
医業費用	14,920																																																																																																									
給与費	7,708																																																																																																									
材料費	4,470																																																																																																									
経費	2,688																																																																																																									
研究研修費	54																																																																																																									
一般管理費	357																																																																																																									
給与費	273																																																																																																									
経費	84																																																																																																									

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																																																																																																									
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																																																																								
	<table border="1"> <tr><td>営業外費用</td><td>95</td></tr> <tr><td>資本支出</td><td>1,837</td></tr> <tr><td>  建設改良費</td><td>1,172</td></tr> <tr><td>  償還金</td><td>544</td></tr> <tr><td>  その他資本支出</td><td>121</td></tr> <tr><td>その他の支出</td><td>10</td></tr> <tr><td>計</td><td>17,319</td></tr> </table> <p>(注記 略)</p>	営業外費用	95	資本支出	1,837	建設改良費	1,172	償還金	544	その他資本支出	121	その他の支出	10	計	17,319		<table border="1"> <tr><td>営業外費用</td><td>96</td></tr> <tr><td>資本支出</td><td>1,699</td></tr> <tr><td>  建設改良費</td><td>1,067</td></tr> <tr><td>  償還金</td><td>544</td></tr> <tr><td>  その他資本支出</td><td>88</td></tr> <tr><td>その他の支出</td><td>0</td></tr> <tr><td>計</td><td>17,072</td></tr> </table> <p>(注記 略)</p>	営業外費用	96	資本支出	1,699	建設改良費	1,067	償還金	544	その他資本支出	88	その他の支出	0	計	17,072																																																																															
営業外費用	95																																																																																																													
資本支出	1,837																																																																																																													
建設改良費	1,172																																																																																																													
償還金	544																																																																																																													
その他資本支出	121																																																																																																													
その他の支出	10																																																																																																													
計	17,319																																																																																																													
営業外費用	96																																																																																																													
資本支出	1,699																																																																																																													
建設改良費	1,067																																																																																																													
償還金	544																																																																																																													
その他資本支出	88																																																																																																													
その他の支出	0																																																																																																													
計	17,072																																																																																																													
2	<p>収支計画 (単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>区 分</th><th>金 額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>収益の部</td><td>17,122</td></tr> <tr><td>  営業収益</td><td>17,032</td></tr> <tr><td>    医業収益</td><td>16,050</td></tr> <tr><td>    運営費負担金収益</td><td>906</td></tr> <tr><td>    資産見返負債戻入</td><td>6</td></tr> <tr><td>    その他営業収益</td><td>70</td></tr> <tr><td>  営業外収益</td><td>90</td></tr> <tr><td>    運営費負担金収益</td><td>56</td></tr> <tr><td>    その他営業外収益</td><td>34</td></tr> <tr><td>  臨時利益</td><td>0</td></tr> <tr><td>費用の部</td><td>16,872</td></tr> <tr><td>  営業費用</td><td>16,445</td></tr> <tr><td>    医業費用</td><td>16,030</td></tr> <tr><td>      給与費</td><td>7,763</td></tr> <tr><td>      材料費</td><td>4,434</td></tr> <tr><td>      経費</td><td>2,454</td></tr> <tr><td>      減価償却費</td><td>1,285</td></tr> <tr><td>      研究研修費</td><td>94</td></tr> <tr><td>  一般管理費</td><td>415</td></tr> <tr><td>    給与費</td><td>261</td></tr> <tr><td>    減価償却費</td><td>26</td></tr> <tr><td>    経費</td><td>128</td></tr> <tr><td>  営業外費用</td><td>417</td></tr> <tr><td>  臨時損失</td><td>0</td></tr> <tr><td>  予備費</td><td>10</td></tr> </tbody> </table>	区 分	金 額	収益の部	17,122	営業収益	17,032	医業収益	16,050	運営費負担金収益	906	資産見返負債戻入	6	その他営業収益	70	営業外収益	90	運営費負担金収益	56	その他営業外収益	34	臨時利益	0	費用の部	16,872	営業費用	16,445	医業費用	16,030	給与費	7,763	材料費	4,434	経費	2,454	減価償却費	1,285	研究研修費	94	一般管理費	415	給与費	261	減価償却費	26	経費	128	営業外費用	417	臨時損失	0	予備費	10		<p>2 収支計画に対する実績 (単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>区 分</th><th>金 額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>収益の部</td><td>17,127</td></tr> <tr><td>  営業収益</td><td>16,956</td></tr> <tr><td>    医業収益</td><td>15,931</td></tr> <tr><td>    運営費負担金収益</td><td>951</td></tr> <tr><td>    資産見返負債戻入</td><td>6</td></tr> <tr><td>    その他営業収益</td><td>68</td></tr> <tr><td>  営業外収益</td><td>100</td></tr> <tr><td>    運営費負担金収益</td><td>56</td></tr> <tr><td>    その他営業外収益</td><td>44</td></tr> <tr><td>  臨時利益</td><td>71</td></tr> <tr><td>費用の部</td><td>16,992</td></tr> <tr><td>  営業費用</td><td>16,299</td></tr> <tr><td>    医業費用</td><td>15,909</td></tr> <tr><td>      給与費</td><td>7,926</td></tr> <tr><td>      材料費</td><td>4,147</td></tr> <tr><td>      経費</td><td>2,514</td></tr> <tr><td>      減価償却費</td><td>1,272</td></tr> <tr><td>      研究研修費</td><td>50</td></tr> <tr><td>  一般管理費</td><td>390</td></tr> <tr><td>    給与費</td><td>285</td></tr> <tr><td>    減価償却費</td><td>24</td></tr> <tr><td>    経費</td><td>81</td></tr> <tr><td>  営業外費用</td><td>681</td></tr> <tr><td>  臨時損失</td><td>12</td></tr> <tr><td>  予備費</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>	区 分	金 額	収益の部	17,127	営業収益	16,956	医業収益	15,931	運営費負担金収益	951	資産見返負債戻入	6	その他営業収益	68	営業外収益	100	運営費負担金収益	56	その他営業外収益	44	臨時利益	71	費用の部	16,992	営業費用	16,299	医業費用	15,909	給与費	7,926	材料費	4,147	経費	2,514	減価償却費	1,272	研究研修費	50	一般管理費	390	給与費	285	減価償却費	24	経費	81	営業外費用	681	臨時損失	12	予備費	0			
区 分	金 額																																																																																																													
収益の部	17,122																																																																																																													
営業収益	17,032																																																																																																													
医業収益	16,050																																																																																																													
運営費負担金収益	906																																																																																																													
資産見返負債戻入	6																																																																																																													
その他営業収益	70																																																																																																													
営業外収益	90																																																																																																													
運営費負担金収益	56																																																																																																													
その他営業外収益	34																																																																																																													
臨時利益	0																																																																																																													
費用の部	16,872																																																																																																													
営業費用	16,445																																																																																																													
医業費用	16,030																																																																																																													
給与費	7,763																																																																																																													
材料費	4,434																																																																																																													
経費	2,454																																																																																																													
減価償却費	1,285																																																																																																													
研究研修費	94																																																																																																													
一般管理費	415																																																																																																													
給与費	261																																																																																																													
減価償却費	26																																																																																																													
経費	128																																																																																																													
営業外費用	417																																																																																																													
臨時損失	0																																																																																																													
予備費	10																																																																																																													
区 分	金 額																																																																																																													
収益の部	17,127																																																																																																													
営業収益	16,956																																																																																																													
医業収益	15,931																																																																																																													
運営費負担金収益	951																																																																																																													
資産見返負債戻入	6																																																																																																													
その他営業収益	68																																																																																																													
営業外収益	100																																																																																																													
運営費負担金収益	56																																																																																																													
その他営業外収益	44																																																																																																													
臨時利益	71																																																																																																													
費用の部	16,992																																																																																																													
営業費用	16,299																																																																																																													
医業費用	15,909																																																																																																													
給与費	7,926																																																																																																													
材料費	4,147																																																																																																													
経費	2,514																																																																																																													
減価償却費	1,272																																																																																																													
研究研修費	50																																																																																																													
一般管理費	390																																																																																																													
給与費	285																																																																																																													
減価償却費	24																																																																																																													
経費	81																																																																																																													
営業外費用	681																																																																																																													
臨時損失	12																																																																																																													
予備費	0																																																																																																													

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																																																																																																									
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																																																																								
	<table border="1"> <tr><td>純利益</td><td>250</td></tr> <tr><td>目的積立金取崩額</td><td>0</td></tr> <tr><td>総利益</td><td>250</td></tr> </table> (注記 略)	純利益	250	目的積立金取崩額	0	総利益	250		<table border="1"> <tr><td>純利益</td><td>135</td></tr> <tr><td>目的積立金取崩額</td><td>0</td></tr> <tr><td>総利益</td><td>135</td></tr> </table> (注記 略)	純利益	135	目的積立金取崩額	0	総利益	135																																																																																															
純利益	250																																																																																																													
目的積立金取崩額	0																																																																																																													
総利益	250																																																																																																													
純利益	135																																																																																																													
目的積立金取崩額	0																																																																																																													
総利益	135																																																																																																													
	3 資金計画 (単位：百万円) <table border="1"> <thead> <tr><th>区 分</th><th>金 額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>資金収入</td><td>25,339</td></tr> <tr><td>業務活動による収入</td><td>17,154</td></tr> <tr><td>  診療業務による収入</td><td>16,080</td></tr> <tr><td>  運営費負担金による収入</td><td>962</td></tr> <tr><td>  その他の業務活動による収入</td><td>112</td></tr> <tr><td>投資活動による収入</td><td>39</td></tr> <tr><td>  運営費負担金による収入</td><td>39</td></tr> <tr><td>  その他の投資活動による収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>財務活動による収入</td><td>446</td></tr> <tr><td>  長期借入による収入</td><td>214</td></tr> <tr><td>  その他の財務活動による収入</td><td>232</td></tr> <tr><td>前事業年度からの繰越金</td><td>7,700</td></tr> <tr><td>資金支出</td><td>25,339</td></tr> <tr><td>業務活動による支出</td><td>15,472</td></tr> <tr><td>  給与費支出</td><td>8,020</td></tr> <tr><td>  材料費支出</td><td>4,498</td></tr> <tr><td>  その他の業務活動による支出</td><td>2,954</td></tr> <tr><td>投資活動による支出</td><td>1,293</td></tr> <tr><td>  有形固定資産の取得による支出</td><td>1,172</td></tr> <tr><td>  その他の投資活動による支出</td><td>121</td></tr> <tr><td>財務活動による支出</td><td>544</td></tr> <tr><td>  長期借入金の返済による支出</td><td>188</td></tr> <tr><td>  前前地方債償還義務の償還による支出</td><td>297</td></tr> <tr><td>  その他財務活動による支出</td><td>59</td></tr> <tr><td>翌事業年度への繰越金</td><td>8,030</td></tr> </tbody> </table> (注記 略)	区 分	金 額	資金収入	25,339	業務活動による収入	17,154	診療業務による収入	16,080	運営費負担金による収入	962	その他の業務活動による収入	112	投資活動による収入	39	運営費負担金による収入	39	その他の投資活動による収入	0	財務活動による収入	446	長期借入による収入	214	その他の財務活動による収入	232	前事業年度からの繰越金	7,700	資金支出	25,339	業務活動による支出	15,472	給与費支出	8,020	材料費支出	4,498	その他の業務活動による支出	2,954	投資活動による支出	1,293	有形固定資産の取得による支出	1,172	その他の投資活動による支出	121	財務活動による支出	544	長期借入金の返済による支出	188	前前地方債償還義務の償還による支出	297	その他財務活動による支出	59	翌事業年度への繰越金	8,030		3 資金計画に対する実績 (単位：百万円) <table border="1"> <thead> <tr><th>区 分</th><th>金 額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>資金収入</td><td>25,478</td></tr> <tr><td>業務活動による収入</td><td>17,042</td></tr> <tr><td>  診療業務による収入</td><td>15,818</td></tr> <tr><td>  運営費負担金による収入</td><td>951</td></tr> <tr><td>  その他の業務活動による収入</td><td>273</td></tr> <tr><td>投資活動による収入</td><td>48</td></tr> <tr><td>  運営費負担金による収入</td><td>39</td></tr> <tr><td>  その他の投資活動による収入</td><td>9</td></tr> <tr><td>財務活動による収入</td><td>552</td></tr> <tr><td>  長期借入による収入</td><td>214</td></tr> <tr><td>  その他の財務活動による収入</td><td>338</td></tr> <tr><td>前事業年度からの繰越金</td><td>7,836</td></tr> <tr><td>資金支出</td><td>25,478</td></tr> <tr><td>業務活動による支出</td><td>15,696</td></tr> <tr><td>  給与費支出</td><td>6,414</td></tr> <tr><td>  材料費支出</td><td>4,466</td></tr> <tr><td>  その他の業務活動による支出</td><td>4,816</td></tr> <tr><td>投資活動による支出</td><td>1,020</td></tr> <tr><td>  有形固定資産の取得による支出</td><td>963</td></tr> <tr><td>  その他の投資活動による支出</td><td>57</td></tr> <tr><td>財務活動による支出</td><td>544</td></tr> <tr><td>  長期借入金の返済による支出</td><td>188</td></tr> <tr><td>  前前地方債償還義務の償還による支出</td><td>297</td></tr> <tr><td>  その他財務活動による支出</td><td>59</td></tr> <tr><td>翌事業年度への繰越金</td><td>8,218</td></tr> </tbody> </table> (注記 略)	区 分	金 額	資金収入	25,478	業務活動による収入	17,042	診療業務による収入	15,818	運営費負担金による収入	951	その他の業務活動による収入	273	投資活動による収入	48	運営費負担金による収入	39	その他の投資活動による収入	9	財務活動による収入	552	長期借入による収入	214	その他の財務活動による収入	338	前事業年度からの繰越金	7,836	資金支出	25,478	業務活動による支出	15,696	給与費支出	6,414	材料費支出	4,466	その他の業務活動による支出	4,816	投資活動による支出	1,020	有形固定資産の取得による支出	963	その他の投資活動による支出	57	財務活動による支出	544	長期借入金の返済による支出	188	前前地方債償還義務の償還による支出	297	その他財務活動による支出	59	翌事業年度への繰越金	8,218			
区 分	金 額																																																																																																													
資金収入	25,339																																																																																																													
業務活動による収入	17,154																																																																																																													
診療業務による収入	16,080																																																																																																													
運営費負担金による収入	962																																																																																																													
その他の業務活動による収入	112																																																																																																													
投資活動による収入	39																																																																																																													
運営費負担金による収入	39																																																																																																													
その他の投資活動による収入	0																																																																																																													
財務活動による収入	446																																																																																																													
長期借入による収入	214																																																																																																													
その他の財務活動による収入	232																																																																																																													
前事業年度からの繰越金	7,700																																																																																																													
資金支出	25,339																																																																																																													
業務活動による支出	15,472																																																																																																													
給与費支出	8,020																																																																																																													
材料費支出	4,498																																																																																																													
その他の業務活動による支出	2,954																																																																																																													
投資活動による支出	1,293																																																																																																													
有形固定資産の取得による支出	1,172																																																																																																													
その他の投資活動による支出	121																																																																																																													
財務活動による支出	544																																																																																																													
長期借入金の返済による支出	188																																																																																																													
前前地方債償還義務の償還による支出	297																																																																																																													
その他財務活動による支出	59																																																																																																													
翌事業年度への繰越金	8,030																																																																																																													
区 分	金 額																																																																																																													
資金収入	25,478																																																																																																													
業務活動による収入	17,042																																																																																																													
診療業務による収入	15,818																																																																																																													
運営費負担金による収入	951																																																																																																													
その他の業務活動による収入	273																																																																																																													
投資活動による収入	48																																																																																																													
運営費負担金による収入	39																																																																																																													
その他の投資活動による収入	9																																																																																																													
財務活動による収入	552																																																																																																													
長期借入による収入	214																																																																																																													
その他の財務活動による収入	338																																																																																																													
前事業年度からの繰越金	7,836																																																																																																													
資金支出	25,478																																																																																																													
業務活動による支出	15,696																																																																																																													
給与費支出	6,414																																																																																																													
材料費支出	4,466																																																																																																													
その他の業務活動による支出	4,816																																																																																																													
投資活動による支出	1,020																																																																																																													
有形固定資産の取得による支出	963																																																																																																													
その他の投資活動による支出	57																																																																																																													
財務活動による支出	544																																																																																																													
長期借入金の返済による支出	188																																																																																																													
前前地方債償還義務の償還による支出	297																																																																																																													
その他財務活動による支出	59																																																																																																													
翌事業年度への繰越金	8,218																																																																																																													

4 短期借入金の限度額

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
—	※ 短期借入金の限度額  1 限度額  2 想定される短期借入金の発生理 由		1 限度額 ・ 10億円  2 想定される短期借入金の発生理 由 ・ 実績なし	—	—	

5 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
—	※ 出資等に係る不要財産又は出資 等に係る不要財産となることが見 込まれる財産がある場合には、当該 財産の処分に関する計画		・ 該当なし	—	—	

6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
—	※ 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画		・ 該当なし	—	—	

**7 剰余金の使途**

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
—	※ 剰余金の使途		・ 該当なし	—	—	

**8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項**

中期 目標	8-1 職員の就労環境の向上	職員の実情等を考慮した柔軟な勤務形態の導入、院内保育施設等の整備・拡充といった育児支援体制の充実など、日常業務の質の向上を図るために必要な職員の就労環境の整備に努めること。 さらに、地方独立行政法人制度の特徴を十分に生かし、医療従事者を必要数確保することによって、病院職員全体の勤務環境を改善すること。
	8-2 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携	人事交流など、岐阜県及び岐阜県の設立した他の地方独立行政法人との連携を推進すること。
	8-3 施設・医療機器の整備	病棟などの施設整備や医療機器整備については、県民の医療需要、費用対効果、医療技術の進展などを総合的に勘案して計画的に実施すること。
	8-4 法人が負担する債務の償還に関する事項	法人は、岐阜県に対して負担する地方独立行政法人法第86条第1項に規定する債務の処理を確実にを行うこと。

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
27	※ 職員の就労環境の向上 1 職員の就労環境の整備 2 職員の健康管理対策の充実	1 職員の就労環境の整備 ・ 医療従事者の勤務環境改善に向けた県指定モデル病院として、有給休暇取得向上に取り組み、年次休暇などの取得率を上げた。  【有給休暇取得率】 単位：%	2 職員の健康管理対策の充実 ・ 平成28年度実施に向けたストレスチェックの準備や、定期健康診断における要精密検査等の未実施職員への受診指導を所属長から行う体制を導入し、健康管理対策の充実に努めた。	IV	IV	休暇取得率の向上、育児部分休業・短時間勤務利用者数の増加など職員の就労環境の向上は、提供する医療の質に

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組			その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																																																				
		区分\年度	H26	H27			検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																			
3	院内保育施設の充実	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年次休暇</td> <td>22.9</td> <td>27.3</td> </tr> <tr> <td>夏期休暇</td> <td>88.3</td> <td>92.5</td> </tr> <tr> <td>誕生日休暇</td> <td>73.5</td> <td>74.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>【育児部分休業及び育児短時間勤務利用者数】 単位：人（各年度末時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>21</td> <td>27</td> </tr> </tbody> </table> <p>【医師・看護師事務作業補助者数】単位：人（各年度末時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師事務作業補助者（医療クラーク）</td> <td>40</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>病棟事務補助者（看護クラーク）</td> <td>11</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>51</td> <td>55</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 院内保育施設の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 25 年度から民間会社に保育業務を委託し、夜間保育及び休日保育を行うとともに、病児保育の利便性を向上させた。</li> </ul> <p>【院内保育状況】 単位：人（各年度末時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入所者数</td> <td>37</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">夜間保育</td> <td>利用者数</td> <td>32</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>対応曜日</td> <td>金曜日</td> <td>木曜日</td> </tr> <tr> <td>休日保育</td> <td>96</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>病児保育利用（延人数）</td> <td>96</td> <td>116</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H26	H27	年次休暇	22.9	27.3	夏期休暇	88.3	92.5	誕生日休暇	73.5	74.7	区分\年度	H26	H27	利用者数	21	27	区分\年度	H26	H27	医師事務作業補助者（医療クラーク）	40	43	病棟事務補助者（看護クラーク）	11	12	合計	51	55	区分\年度	H26	H27	入所者数	37	54	夜間保育	利用者数	32	46	対応曜日	金曜日	木曜日	休日保育	96	110	病児保育利用（延人数）	96	116	<p>【メンタルヘルスクエア相談件数】単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>	H26	H27	7	9			直結するため評価できる。
区分\年度	H26	H27																																																									
年次休暇	22.9	27.3																																																									
夏期休暇	88.3	92.5																																																									
誕生日休暇	73.5	74.7																																																									
区分\年度	H26	H27																																																									
利用者数	21	27																																																									
区分\年度	H26	H27																																																									
医師事務作業補助者（医療クラーク）	40	43																																																									
病棟事務補助者（看護クラーク）	11	12																																																									
合計	51	55																																																									
区分\年度	H26	H27																																																									
入所者数	37	54																																																									
夜間保育	利用者数	32	46																																																								
	対応曜日	金曜日	木曜日																																																								
休日保育	96	110																																																									
病児保育利用（延人数）	96	116																																																									
H26	H27																																																										
7	9																																																										
28	※ 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項			<ul style="list-style-type: none"> <li>防災相互通信用無線の整備を通じて、危機管理事案発生時の関係機関との連携強化を図った。</li> <li>県立 3 病院医事担当者会議、県立 3 病院財務担当者会議、</li> </ul>	III	III																																																					

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																			
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																		
			県立三病院MSW会議などを開催して意見交換を行った。																					
29	<p>※ 施設・医療機器の整備に関する事項</p> <p>1 医療機器の計画的な更新・整備</p> <p>2 質の高い医療をするための新中央診療棟の整備</p>	<p>1 医療機器の計画的な更新・整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県民の医療需要、費用対効果などを総合的に判断した年度整備計画を策定し、超音波診断装置や上部消化管ビデオスコープ、分娩監視装置などの医療機器の購入や、放射線治療装置（ライナック）の更新に向けた計画推進を行った。</li> </ul> <p style="text-align: center;">(単位：百万円)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療機器等整備</td> <td style="text-align: center;">526</td> </tr> <tr> <td>施設等整備</td> <td style="text-align: center;">318</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">844</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 質の高い医療をするための新中央診療棟の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化した中央診療棟の整備に向けた新中央診療棟整備の基本構想（財源、建替え手法等）策定に取り組み、県、市との協議を進めた。</li> </ul>	区分	金額	医療機器等整備	526	施設等整備	318	合計	844		IV	IV											
区分	金額																							
医療機器等整備	526																							
施設等整備	318																							
合計	844																							
30	<p>※ 法人が負担する債務の償還に関する事項</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>法人として岐阜県に対し負担する債務の償還を確実に行った。</li> </ul> <p>【企業債償還額（元本）】 (単位：百万円)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9月</td> <td style="text-align: center;">241</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td style="text-align: center;">244</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: center;">485</td> </tr> </tbody> </table> <p>【債務の償還状況（合計）】 (単位：百万円)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1期中期計画期間計</td> <td style="text-align: center;">3,603</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td style="text-align: center;">485</td> </tr> </tbody> </table> <p>(内訳)</p> <p>移行前地方債償還債務 (単位：百万円)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		金額	9月	241	3月	244	計	485	年度	実績	第1期中期計画期間計	3,603	H27	485	年度	実績			III	III	
	金額																							
9月	241																							
3月	244																							
計	485																							
年度	実績																							
第1期中期計画期間計	3,603																							
H27	485																							
年度	実績																							

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証													
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項												
			<table border="1"> <tr> <td>第1期中期計画期間計</td> <td>3,211</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>297</td> </tr> <tr> <td colspan="2">長期借入金償還額 (単位:百万円)</td> </tr> <tr> <td>年度</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>第1期中期計画期間計</td> <td>392</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>188</td> </tr> </table>	第1期中期計画期間計	3,211	H27	297	長期借入金償還額 (単位:百万円)		年度	実績	第1期中期計画期間計	392	H27	188			
第1期中期計画期間計	3,211																	
H27	297																	
長期借入金償還額 (単位:百万円)																		
年度	実績																	
第1期中期計画期間計	392																	
H27	188																	

8-5 中期目標の期間を超える債務負担

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																
—	<p>(単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>契約期間</th> <th>中期目標期間 事業費</th> <th>次期以降 事業費</th> <th>総事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修医 宿舎整 備事業</td> <td>平成25年度 ～ 平成44年度</td> <td>101</td> <td>186</td> <td>328</td> </tr> </tbody> </table>	区分	契約期間	中期目標期間 事業費	次期以降 事業費	総事業費	研修医 宿舎整 備事業	平成25年度 ～ 平成44年度	101	186	328		<ul style="list-style-type: none"> <li>中期目標の期間を超える研修医宿舎整備事業の支払いは、計画どおり支払いを行った。</li> </ul> <p>【債務の償還状況(合計)】 (単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中期目標期間事業費</td> <td>101</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績	中期目標期間事業費	101	H27	20	—	—	
区分	契約期間	中期目標期間 事業費	次期以降 事業費	総事業費																		
研修医 宿舎整 備事業	平成25年度 ～ 平成44年度	101	186	328																		
年度	実績																					
中期目標期間事業費	101																					
H27	20																					